

1月号

## 鳥取県の経済動向

Trends of Economy in Tottori pref.

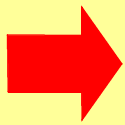
## ■平成25年10月～11月の主要指標をもとに

## 基調判断

Basic Economic Policy

変化の方向

一部に足踏みが見られるも、基調はなお持ち直しの動き



## POINT

10月

○一致指数は単月で2か月連続の前月比マイナス、3か月平均は8か月ぶりのマイナス  
○生産面などの指標が足踏みするも、基調としてはなお持ち直しの動きにある

先行き

○先行指数は単月で2か月ぶりの前月比プラス、3か月平均は3か月ぶりのプラス  
○単月では大きく上振れするも、先行きには引き続き不透明感が残る

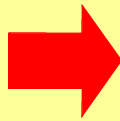
p.2

## 分野別の動向

Trends of Various Branches

変化の方向

消費



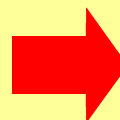
全体として弱い動きが続いている

## POINT

○大型小売店＝衣料品が低調も、飲食料品が比較的好調だったため、3か月ぶりのプラスに  
○ホームセンター・家電量販店＝ホームセンターを中心に、低調な動きが続く  
○乗用車＝全ての車種で増加し、3か月連続の前年比プラス

p.4

投資



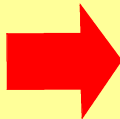
持ち直しの動きを続けるが、先行きにやや不透明感

## POINT

○住宅投資＝単月では4か月ぶりの前年比マイナス、3か月平均のプラス幅はやや縮小  
○設備投資＝3か月平均のプラス幅は拡大も、単月で大幅な前年比マイナス  
○公共投資＝県の大幅増などにより、年度当初から8か月連続の前年比プラス

p.6

生産



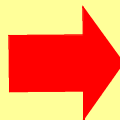
低水準で横ばい圏内の動きが続くなか、2か月連続のマイナス

## POINT

○鉱工業生産＝生産指数は2か月連続の前月比マイナスとなり、引き続き低水準  
・基調：足元では2か月連続の低下  
・先行き：在庫率が高い水準で推移するなど、当面は低水準での推移が続く見通し

p.8

雇用



引き続き改善している

## POINT

○求人＝新規・有効求人倍率ともに前月比プラスとなり、高い水準を維持  
○所定外労働＝製造業は11か月連続、全産業では8か月連続の前年比プラス

p.9

お知らせ

■インターネットでもご覧いただけます(カラーで表示) <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei/>

■本書に関するご意見は、地域振興部統計課まで

電話 0857-26-7104 / ファクシミリ 0857-23-5033 / メールアドレス [toukei@pref.tottori.jp](mailto:toukei@pref.tottori.jp)■全国の景気動向は、内閣府ホームページ内の「月例経済報告」でご覧ください <http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei.html>

# 基調判断

Basic Economic Policy



## 一部に足踏みが見られるも、基調はなお持ち直しの動き

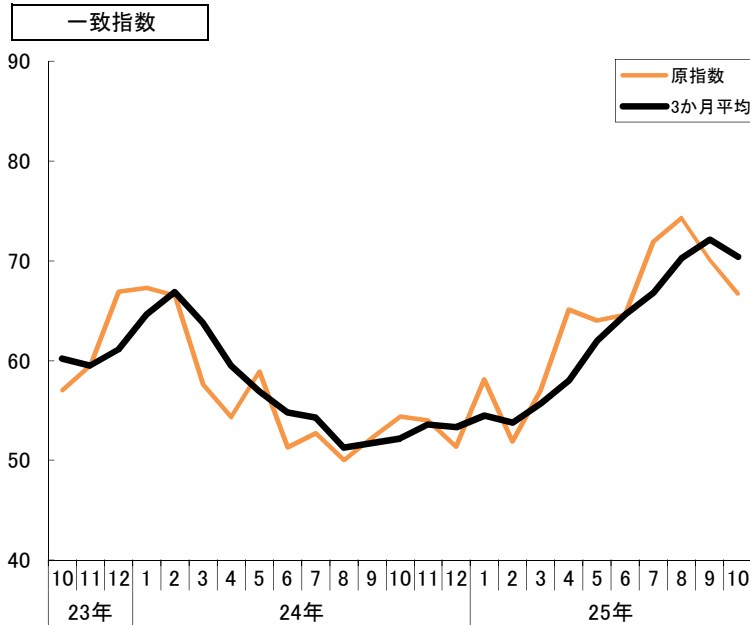
改善傾向が続いていた生産面の指標が足踏みしたことなどから、一致指数は単月で2か月連続の前月比マイナスとなる。景気の基調は全体としてなお持ち直しの動きにあるが、先行きには引き続き不透明感が残る

### 景気動向

先行指数は上振れするも、一致指数は単月で2か月連続の前月比マイナス

統計表p.10

#### ■景気動向指数(CI=コンポジット・インデックス、平成17年=100)

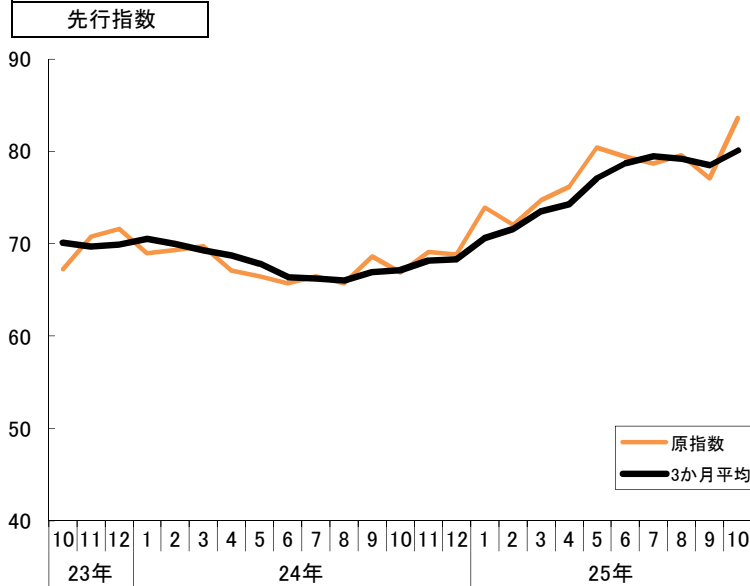


#### 結果概要

- 10月のCI一致指数は、66.7
- 2か月連続の前月比マイナス
- 3か月平均値は8か月ぶりの前月比マイナス
- 構成する指標の主な動き
  - ・8指標のうち5指標が悪化、3指標が改善
  - ・建築着工床面積は3か月連続プラス
  - ・有効求人倍率、就職率はプラスに振れ戻る
  - ・一方、製造工業生産指数、大口電力需要量、実質百貨店販売額、人件費率は2か月連続マイナスとなり、全体を大きく引下げる
  - ・輸入通関実績も大きくマイナスに振れ戻る

#### 景気の足元

- 景気の基調は、消費面に弱さが残る一方、雇用面などが中心となり、平成24年末頃から一進一退しつつも持ち直しの動きを続けてきた
- 足元では、生産面の指標が足踏みするなど、やや鈍化が見られるも、基調としてはなお持ち直しの動きにある



#### 結果概要

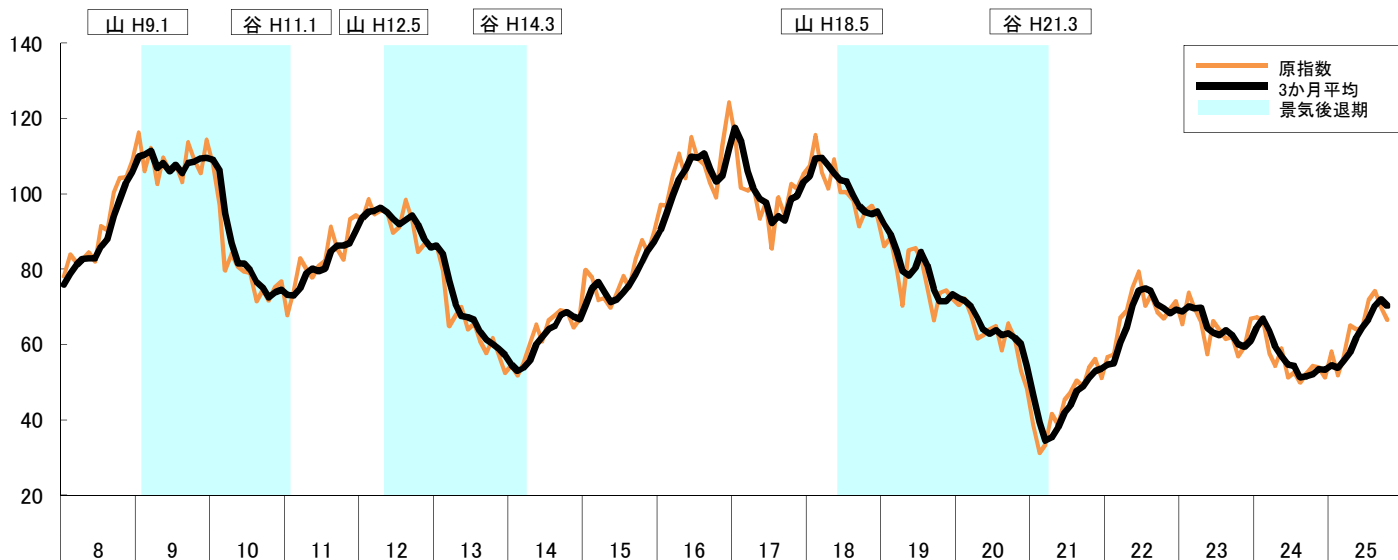
- 10月のCI先行指数は、83.6
- 2か月ぶりの前月比プラス
- 3か月平均値は3か月ぶりのプラス
- 構成する指標の主な動き
  - ・8指標のうち6指標が改善、2指標が悪化
  - ・生産財生産指数、信用保証申込額はマイナスに振れる
  - ・一方、前月に大幅マイナスだった不渡手形発生率は大きくプラスに振れ戻り、全体を押し上げる
  - ・所定外労働時間数、新規求人数、日経商品指数、民間金融貸出残高もプラスに振れる
  - ・新設住宅着工戸数は3か月連続のプラス

#### 景気の先行き

- 足踏みしていた先行指数が単月で大きく上振れするも、景気の先行きには引き続き不透明感が残る

		平成25年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
CI一致指数	原指数	64.0	64.6	71.9	74.3	70.1	66.7
	前月差	▲ 1.1	0.6	7.3	2.4	▲ 4.2	▲ 3.4
	3か月平均	62.0	64.6	66.8	70.3	72.1	70.4
	前月差	4.0	2.6	2.2	3.5	1.8	▲ 1.7
CI先行指数	原指数	80.4	79.4	78.7	79.6	77.1	83.6
	前月差	4.2	▲ 1.0	▲ 0.7	0.9	▲ 2.5	6.5
	3か月平均	77.1	78.7	79.5	79.2	78.5	80.1
	前月差	2.8	1.6	0.8	▲ 0.3	▲ 0.7	1.6

【参考1】CI一致指数長期時系列(コンボジット・インデックス、平成17年=100)

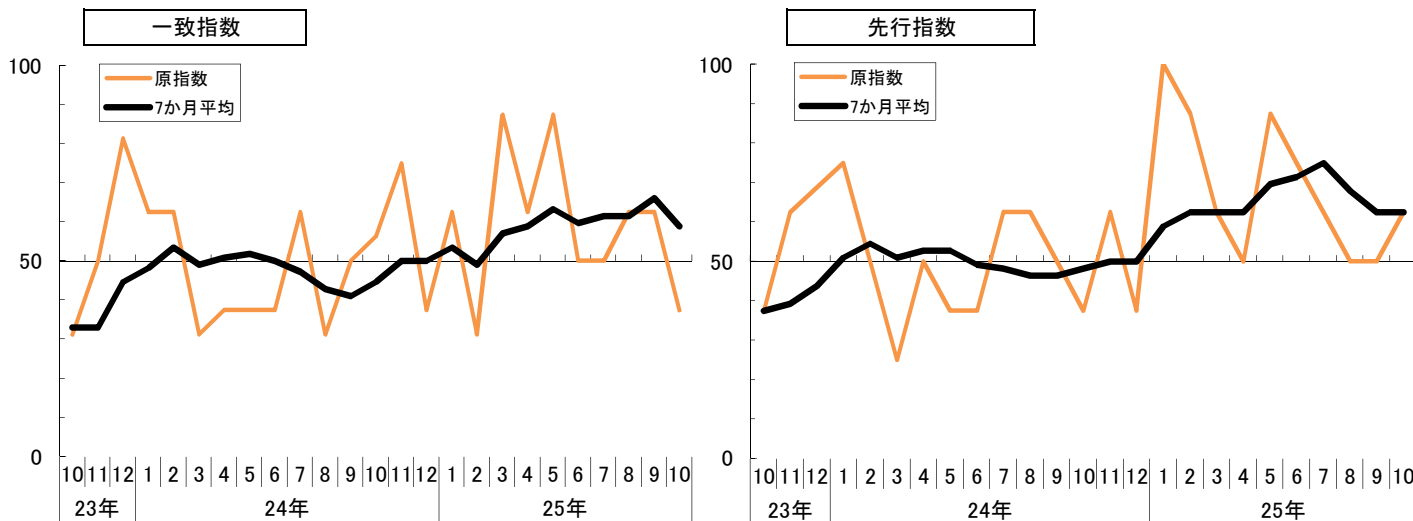


【参考2】DI指数(ディフュージョン・インデックス)

※DI指数=3か月前と比較して改善した指標の数÷採用された指標の数

【一致指数】 10月は37.5(8か月ぶりの50割れ)、7か月平均では58.9(8か月連続の50超)

【先行指数】 10月は62.5、7か月平均では62.5(10か月連続の50超)



		平成25年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
DI一致指数	原指数	87.5	50.0	50.0	62.5	62.5	<b>37.5</b>
	7か月平均	63.4	59.8	61.6	61.6	66.1	<b>58.9</b>
DI先行指数	原指数	87.5	75.0	62.5	50.0	50.0	<b>62.5</b>
	7か月平均	69.6	71.4	75.0	67.9	62.5	<b>62.5</b>

指標解説

景気動向指数

足元の景気の動きを示す一致指数、先行性を示す先行指数、やや遅れて動く遅行指数の3つで構成される。

3か月前と比べて改善した指標の割合で景気の向きをとらえるDI(ディフュージョン・インデックス)と、各指標の変化率を合成した数値で景気の勢いをつかむのに適するCI(コンボジット・インデックス)の2種類がある。鳥取県では平成24年4月公表分から、それまでのDIに代わりCIを主体に景気の基調判断を行っている。

鳥取県の指数は、一致指数と先行指数がともに8指標(右表参照)、遅行指数が6指標で構成されている。

一致指数(8系列)

- 有効求人倍率(一般)
- 就職率(一般)
- 製造工業生産指数
- 大口電力需要量
- 実質百貨店販売額
- 建築着工床面積(鉱工業用)
- 人件費率(製造業、逆)
- 輸入通関実績

先行指数(8系列)

- 所定外労働時間数(製造業)
- 新規求人数(一般)
- 生産財生産指数
- 日経商品指数
- 新設住宅着工戸数
- 民間金融貸出残高
- 信用保証申込額(逆)
- 不渡手形発生率(逆)

※「逆」は逆サイクル指標(増加→悪化、減少→改善とみなす指標)

# 消費

Personal Consumption



## 全体として弱い動きが続いている

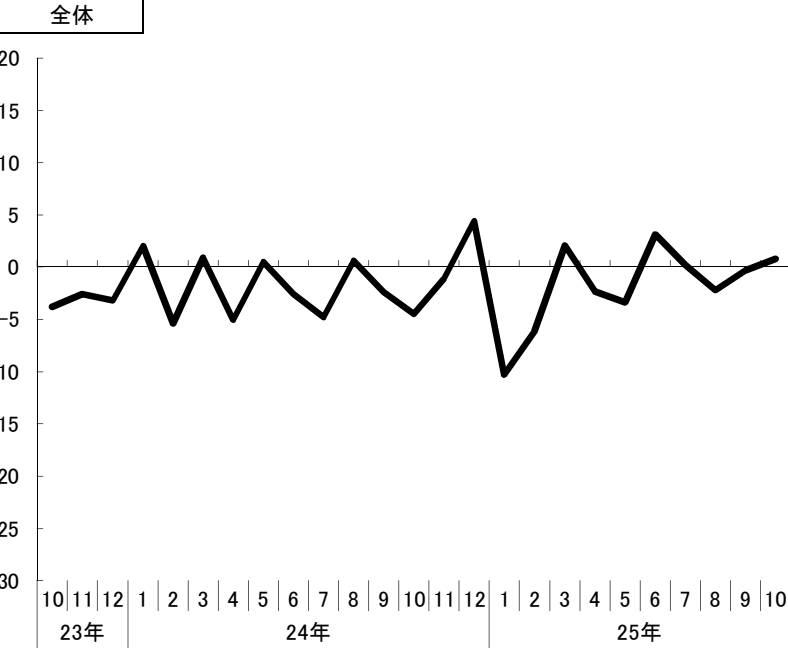
足元の消費は、乗用車が3か月連続の前年比大幅プラスとなり、飲食料品などが比較的好調だった大型小売店が若干のプラスに振れるものの、ホームセンター・家電量販店のマイナスが続くなど、消費全体としては依然として弱い動きが続いている

### 1 大型小売店

衣料品が低調も、飲食料品が比較的好調だったため、3か月ぶりのプラスに

統計表p.11

#### ■大型小売店販売額(店舗調整後、前年同月比、%)



#### 結果概要

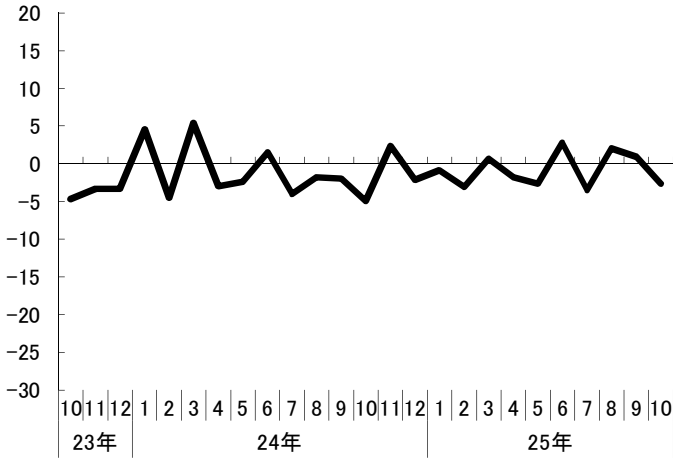
- 全体
  - ・10月は47億円、前年同月比0.8%増(3か月ぶり)
  - ・10品目中、5品目で前年を上回る
- 百貨店
  - ・10月は14億円、同2.6%減(3か月ぶり)
  - ・飲食料品など3品目で増加も、衣料品を中心に7品目で減少
- スーパー
  - ・10月は33億円、同2.5%増(3か月ぶり)
  - ・衣料品などで減少も、飲食料品を中心に5品目で増加

#### 要因・先行き

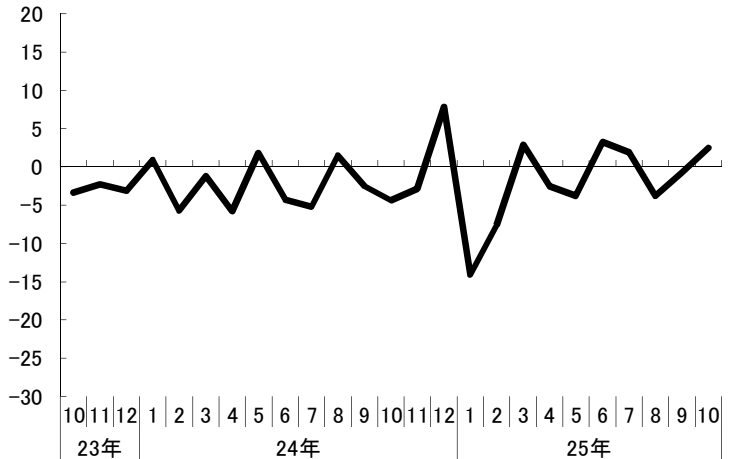
- 10月の要因
  - ・百貨店: 気温が高く推移したため、秋冬物衣料が不調
  - ・スーパー: 主力の飲食料品が比較的好調
- 基調・先行き
  - ・一進一退のなか、全体として弱い動きが続いているが、足元では全体で3か月ぶりの前年同月比プラス
  - ・先行きは、横ばいないしやや減少の動きが続く見通し

#### 業態別

#### ■百貨店販売額(店舗調整後、前年同月比、%)



#### ■スーパー販売額(店舗調整後、前年同月比、%)



#### 指標解説

単位: 百万円、%

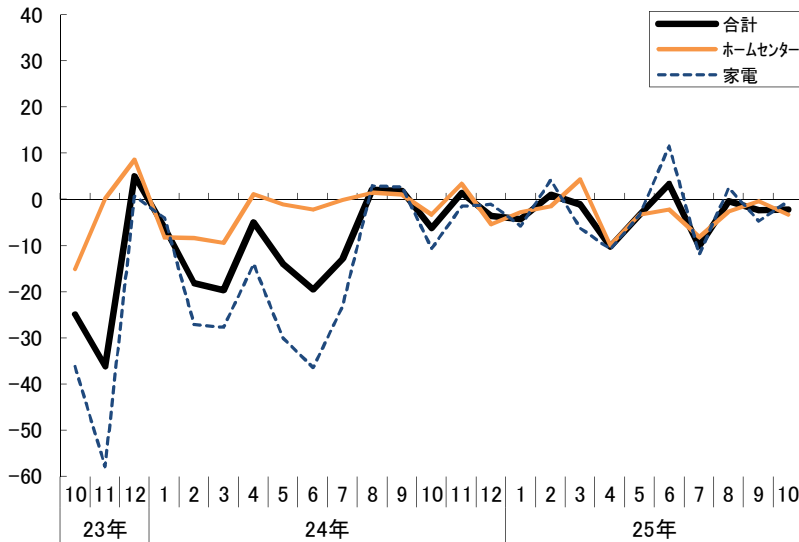
#### 大型小売店販売額

百貨店とスーパーの販売額で構成される個人消費の指標。平成19年商業統計ベースでは、県内の大型店販売額は全体の10.6%を占めており、景気への感度も高いため消費動向の分析に広く活用されている。

集計には全店舗を合計する方法(店舗調整前)と、出店・閉店の影響を除き、比較対象時点の店舗構成を同じにしてカウントする方法(店舗調整後)がある。

		平成25年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
合計	販売額	4,806	4,981	5,159	5,333	4,560	<b>4,699</b>
	前年同月比	▲ 3.4	3.1	0.2	▲ 2.2	▲ 0.3	<b>0.8</b>
百貨店	販売額	1,427	1,539	1,598	1,495	1,330	<b>1,436</b>
	前年同月比	▲ 2.6	2.8	▲ 3.5	2.0	0.9	▲ <b>2.6</b>
スーパー	販売額	3,379	3,443	3,562	3,838	3,231	<b>3,263</b>
	前年同月比	▲ 3.8	3.2	1.9	▲ 3.8	▲ 0.8	<b>2.5</b>

■ホームセンター・家電量販店販売額(前年同月比、%)



結果概要

- 全体
  - ・10月は24億円、前年同月比2.1%減
  - ・4か月連続のマイナス
- 業態別
  - ・ホームセンター:15億円、同3.2%減(7か月連続)
  - ・家電:9億円、同0.3%減(2か月連続)

要因・先行き

- 10月の要因
  - ・ホームセンター:季節商品の動きが鈍く、とくに下旬は台風などの天候不順により、園芸用品が伸び悩む
  - ・家電:白物家電の売上げが堅調だが、全体としてはやや低調
- 基調・先行き
  - ・天候要因などで上下しつつ、基調としては横ばい圏内を推移しているが、とくにホームセンターは低調な動きが続いている

指標解説

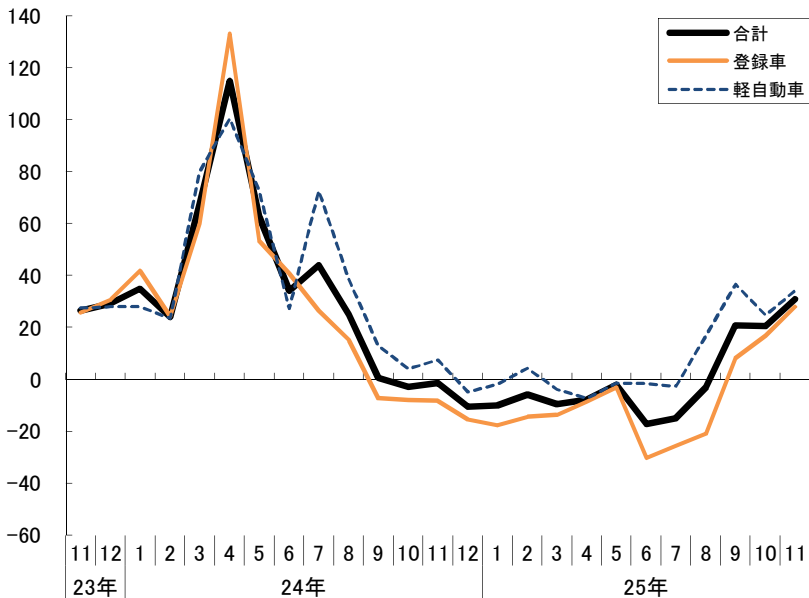
ホームセンター・家電量販店販売額

家庭用品を中心に住関連の商品を幅広く取り扱うホームセンターと家電製品の量販店の販売額。大型小売店販売額が主に「衣」と「食」の消費を反映するのに対し、この指標は「住」の消費動向をとらえるカギとなる。

	平成25年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
合計	▲ 3.2	3.4	▲ 10.0	▲ 0.3	▲ 2.3	▲ 2.1
ホームセンター	▲ 3.2	▲ 2.2	▲ 8.1	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 3.2
家電量販店	▲ 3.3	11.6	▲ 11.8	2.6	▲ 4.7	▲ 0.3

3 乗用車 全ての車種で増加し、3か月連続の前年比プラス

■乗用車新車新規登録台数(前年同月比、%)



結果概要

- 全体
  - ・11月は2,197台、前年同月比31.0%増
  - ・3か月連続のプラス
- 車種別
  - ・登録車:28.0%増(3か月連続;普通車34.6%増、小型車23.4%増)
  - ・軽自動車:34.2%増(4か月連続)

要因・先行き

- 11月の要因
  - ・低燃費・低価格車人気の傾向が続くなか、全ての車種でプラス
  - ・とくに普通車は、前年の大幅減の反動増も加わり、大幅プラス
- 基調・先行き
  - ・エコカー補助金終了(前年9月21日)後のマイナス基調から、9月以降プラス基調となっている
  - ・先行きも、消費増税による駆け込み需要の影響も加わり、当面プラス基調で推移していくと見られる

指標解説

乗用車新車登録台数

購入後に車両登録された新車のうち、「乗用車」の台数。普通車・小型車は運輸支局で登録されるため「登録車」と呼ばれ、専門の検査協会に登録される軽自動車と区別する。耐久消費財の中でも高額な乗用車は、需要が景気動向に左右されやすいため、消費関連の景気指標として有効とされる。

	平成25年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計	▲ 17.1	▲ 15.0	▲ 3.1	20.8	20.6	31.0
登録車	▲ 30.1	▲ 25.5	▲ 20.8	8.2	16.9	28.0
軽自動車	▲ 1.7	▲ 2.5	17.0	36.7	24.9	34.2



# 投資

Investment



## 持ち直しの動きを続けるが、先行きにやや不透明感

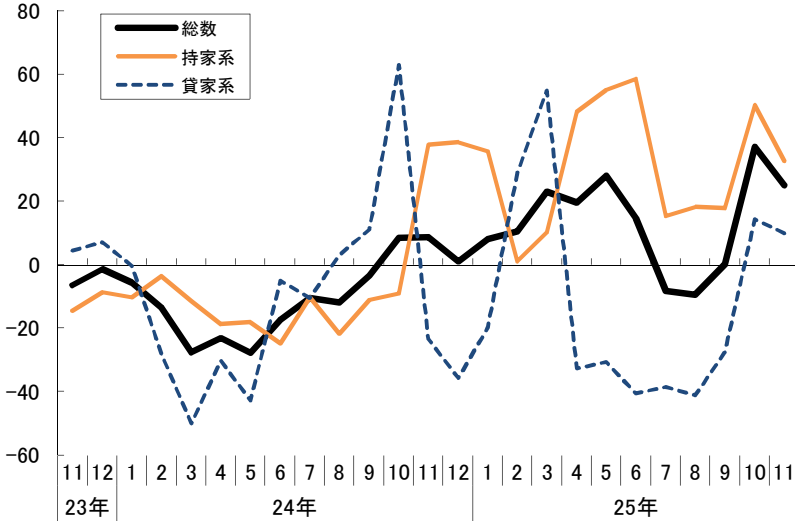
足元では、公共投資が順調に執行されているが、住宅投資で持家系・貸家系ともにプラス幅を縮小、設備投資も単月ではマイナスに振れる。全体として持ち直しの動きは続いているものの、先行きにやや不透明感が漂う

### 1 住宅投資

単月では4か月ぶりの前年比マイナス、3か月平均のプラス幅はやや縮小

統計表p.13

#### ■新設住宅着工戸数(3か月平均、前年同月比、%)



#### 結果概要

##### ○着工総数

- 11月は263戸、前年同月比3.7%減
- 4か月ぶりのマイナス
- 床面積は同12.4%増(4か月連続)
- 3か月平均は同25.1%増(2か月連続)

##### ○各種別の動き

- 持家系(持家・分譲住宅)は191戸、前年同月比4.8%増
- 貸家系(貸家・給与住宅)は68戸、同21.8%減

#### 要因・先行き

##### ○11月の要因

- 持家系は、単月、3か月平均とも前年比プラスを維持
- 貸家系は、前月の大幅プラスから再びマイナスに振れる

##### ○基調・先行き

- 基調は、持ち直しの動きを維持している
- 当面は、消費増税の駆け込み需要が期待できるが息切れの懸念も生じており、やや不透明感も

※11月分は県統計課による速報値

#### 指標解説

##### 新設住宅着工戸数

床面積10平方メートル以上の住宅の着工戸数。持家と分譲住宅からなる「持家系」とアパートなどの貸家と給与住宅の合計である「貸家系」に区分して集計される。

住宅は設備や部品が多く、関連産業のすそ野が広い。また、住宅購入と同時に家具や自動車、家電製品も買うことが多いため、国内需要への影響が大きく、景気や金利にも左右されることから、景気動向の先行指標として使われる。

		平成25年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
総数	原数値	▲ 8.8	▲ 25.8	13.6	25.9	72.4	▲ 3.7
	3か月平均	14.8	▲ 8.3	▲ 9.6	0.0	37.0	25.1
持家系	原数値	46.8	▲ 11.4	35.3	42.3	72.0	4.8
	3か月平均	58.5	15.4	18.3	17.7	50.2	32.7
貸家系	原数値	▲ 47.8	▲ 46.6	▲ 19.4	▲ 3.4	73.2	▲ 21.8
	3か月平均	▲ 40.5	▲ 38.6	▲ 41.1	▲ 27.6	14.4	10.0

## BIZの 焦点



千葉 雄二 氏 [鳥取環境大学地域イノベーション研究センター長]

景気先読みコラム

### アベノミクスの再検証から展望する今年の県経済

平成25年の日本経済は、安倍晋三首相が推進する経済政策いわゆるアベノミクスの景気浮揚効果に焦点が当てられがちだが、地方経済への波及は限定的で、この先むしろ逆風を吹かせる可能性も秘めている。地方の視座からの再検証が十分に必要である。

アベノミクスが景気を押し上げたのは確かだ。金融面での量的・質的緩和や財政出動などの諸政策により、地方でも家計の消費マインドは改善した。円安・株高が物価上昇期待・金利先高観を生み出し、消費増税前の駆け込み需要と相まって耐久財や住宅への前倒し支出が活発になった。ただ将来需要の先食いだけにいずれ息切れは避けられず、高齢化が進んだ地方は消費増税や社会保障改革など政府の財政再建策のマイナス影響を受けやすい。所得の改善余地も少ないため負担増が家計支出の抑制を長期化させる恐れがある。

企業サイドでは個人消費や公共投資が伸びて建設業など非製造業で業績改善が目立つ一方、製造業は輸出が伸び悩んで景気回復感に乏しい。大手製造業は国内の雇用・設備の過剰感が

なお大きく、海外進出志向が強い。このため金融緩和しても国内で増強投資できる環境になく、県内では一巡したが、地方の製造拠点の整理・統合は今後も続くだろう。

地方の中小製造業にとってさらに痛手なのは、急速な円安転換によって、これまで長引く円高に順応するために築いた事業モデルが崩れたことだ。円高を利用して海外から部品を安く調達することで競争力を維持してきた下請け企業は、円安によるコスト高と元請けの海外現地調達シフトに直面して収益の悪化に苦しんでいる。

アベノミクスは法人減税や規制緩和など供給力の底上げや若年層から高齢層への負担の移転で成長力を取り戻そうとする政策であるため、短期的には大企業や若年層の多い大都市圏に恩恵が偏りやすい。その恩恵がダムから水があふれるように地方に流れ来るのに要する時間を考えると、県経済にとって平成26年は、公共投資が下支えしつつも消費の反動減と生産の停滞に耐える厳しい1年になりそうだ。

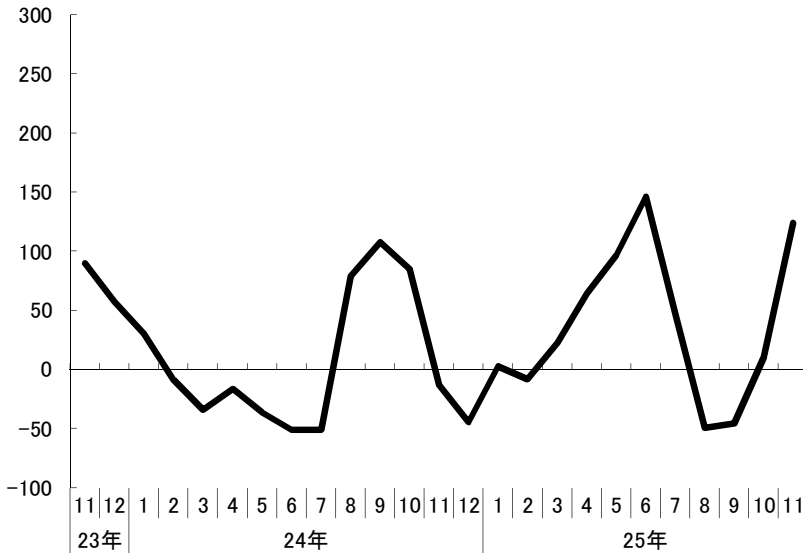
※この欄は、県内調査機関などの経済分析担当者が交代で担当します。

## 2 設備投資

3か月平均のプラス幅は拡大も、単月で大幅な前年比マイナス

統計表p.14

### ■用途別着工建築物工事金額(総額、3か月平均、前年同月比、%)



#### 結果概要

- 工事総額
  - ・11月は6億円、前年同月比47.9%減
  - ・3か月ぶりの前年同月比マイナス
  - ・3か月平均は同123.7%増(2か月連続)
- 主な用途別の動向(前年同月比)
  - ・製造業0.1%増、卸売・小売業245.0%増、医療・福祉90.3%減、その他のサービス業67.7%減

#### 要因・先行き

- 11月の要因
  - ・3か月平均は前月の大幅増などの影響で前年比プラス幅を拡大
  - ・単月では目立った大型工事がなく大幅なマイナス
  - ・主な工事：製造業用工場増築(鳥取市)、小売業用店舗新築(同)
- 基調・先行き
  - ・前月から持ち直し傾向に転じていたが、今月はマイナスに振れる
  - ・先行きは、3か月平均では前月の大幅増の影響が12月まで続くと思われるが、それ以降はやや不透明

※11月分は県統計課による速報値

#### 指標解説

##### 用途別着工建築物工事金額

工事に着手した新築、増築又は改築に係る床面積が10平方メートルを超える建築物の工事金額。製造業、卸売・小売業などの用途別に集計され、民間企業を中心とした設備投資の動向を知る有力な手がかりとなる。

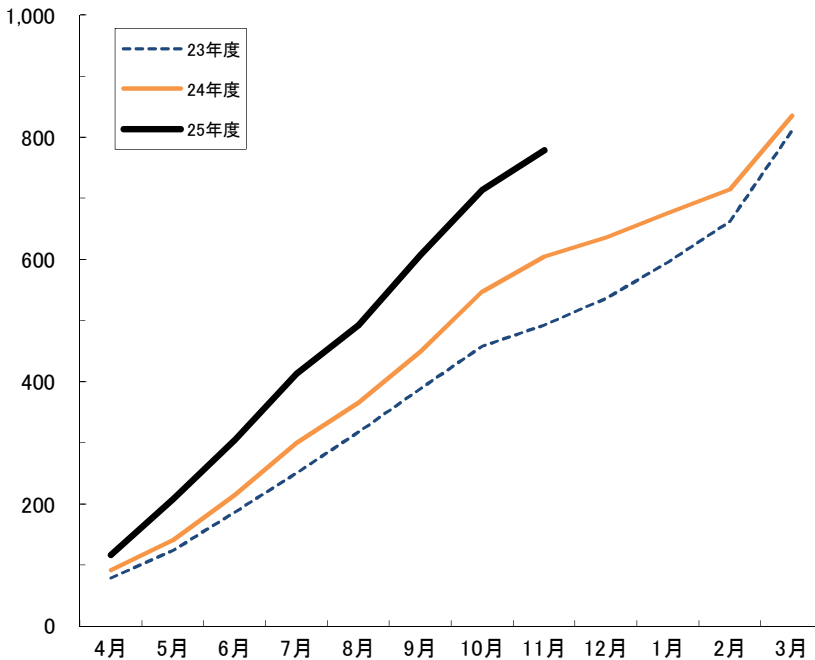
	平成25年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原数値	153.5	▲ 25.8	▲ 82.5	20.4	1951.6	▲ 47.9
3か月平均	145.9	46.8	▲ 49.6	▲ 45.8	10.1	123.7

## 3 公共投資

県の大幅増などにより、年度当初から8か月連続の前年比プラス

統計表p.15

### ■公共工事請負金額(月別保証請負金額の累計、億円)



#### 結果概要

- 11月の公共工事の発注
  - ・発注件数191件、前年同月比17.9%増
  - ・請負金額65億円、同13.4%増
- 発注者別請負金額(対前年比)
  - ・国14.8%増、県43.3%増、市町村14.2%増など
- 主な大型工事(発注者別)
  - ・中国地方整備局：小鴨川大宮河床整備他工事
  - ・鳥取県：国道178号(岩美道路)トンネル工事((仮称)岩美3号トンネル)(補助)

#### 要因・先行き

- 11月の要因
  - ・金額は、県が大幅増だったことにより全体を押し上げる
  - ・西日本全体では請負金額が前年同月比12.6%増(東日本は同横ばい)
- 基調・先行き
  - ・今年度は国では山陰道関連の予算増額や美保基地関連の公共事業、県も2月補正、当初予算に加え11月補正でも公共事業予算が成立しており、昨年度と比べ増加が見込まれる

#### 指標解説

##### 公共工事請負金額

西日本建設業保証株式会社が請負業者と前払金の保証契約を結んだ公共工事の請負金額を集計したもの。発注のほとんどをカバーするため、公共工事の発注動向をとらえる指標として利用されている。請負契約と保証契約にはおおむね半月以内のタイムラグがある。

	平成25年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
月額	98	107	80	115	106	65
年度累計額	306	413	493	608	714	779
同前年比(%)	41.4	37.6	34.6	35.1	30.2	28.6

# 生産

Production



## 低水準で横ばい圏内の動きが続くなか、2か月連続のマイナス

足元の生産動向は、電気機械、一般機械が大幅に低下するなど主要部門で軒並み低下し、またその他のパルプ・紙・紙加工でも大幅低下。全体としては、低水準かつ横ばい圏内の状態が続くなか、2か月連続の前年比マイナス

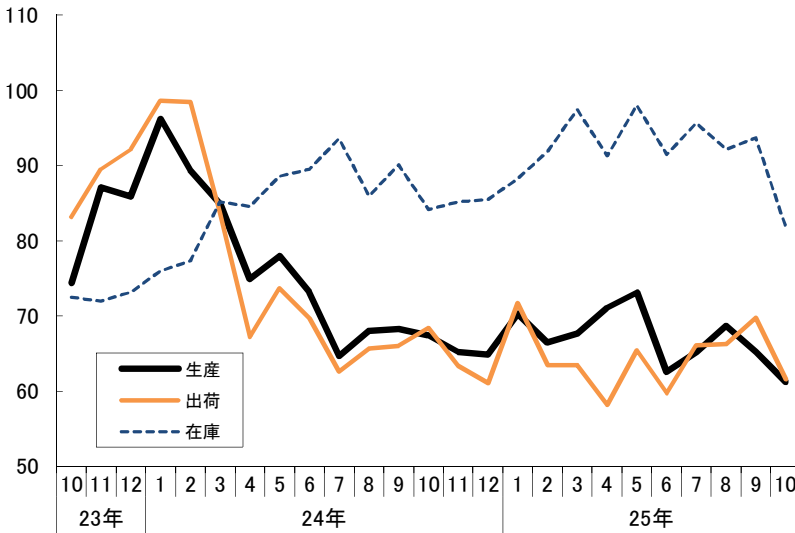
### 鉱工業生産動向

生産指数は2か月連続の前月比マイナスとなり、引き続き低水準

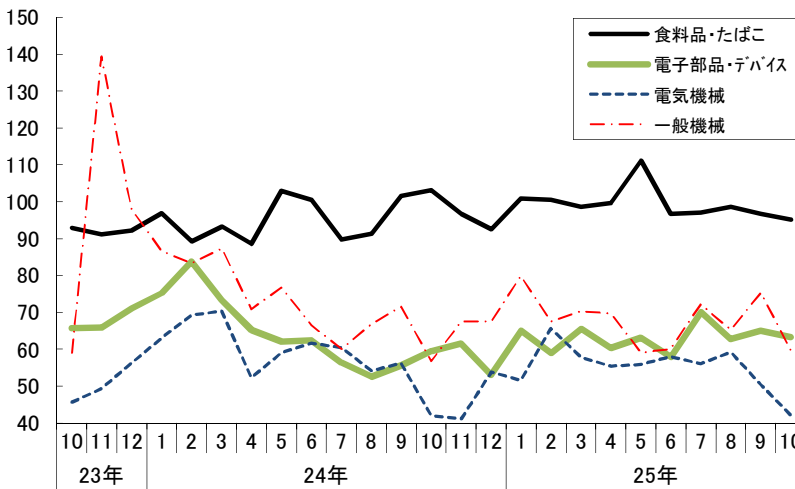
統計表p.16

#### ■鉱工業生産動向(季節調整済、平成17年=100)

全体(生産・出荷・在庫指数)



主要業種(生産指数)



#### 結果概要

- 全体(10月)
  - ・生産指数61.2、前月比6.1%低下
  - ・出荷指数61.6、前月比11.7%低下
  - ・在庫指数81.8、前月比12.7%低下
- 主要業種(生産指数)
  - ・食料品・たばこ:前月比1.7%低下
  - ・電子部品・デバイス:前月比2.8%低下
  - ・電気機械:前月比16.7%低下
  - ・一般機械:前月比21.1%低下

#### 要因

- 食料品
  - ・冷凍水産食品、健康食品や生菓子が増加も、その他の品目などで減少
  - ・一部品目で点検のためラインを停止したため減少
- 電子部品・デバイス
  - ・電子・通信機器用部分品で増加も、液晶素子で減少
- 電気機械
  - ・民生用電気機械器具、内燃機関電装品で減少
- 一般機械
  - ・その他一般機械、金型で減少
- その他
  - ・金属製品、鉄鋼で増加
  - ・パルプ・紙・紙加工が一部工場の定期修理で減少

#### 基調・先行き

- 基調
  - ・昨夏以降の生産動向は、それまでの減少基調からほぼ横ばいの動きに転じ、低水準で推移
  - ・足元では、2か月連続の低下
- 先行き
  - ・出荷指数が単月で大幅減となり、在庫率水準は低下傾向にあるものの依然高く推移するなど、今後も懸念材料が残されており、当面は低水準での推移が続く見通し

#### 指標解説

##### 鉱工業生産指数

鉱業または製造業に属する企業の生産活動状況を示すものとして作成されている。

鉱工業は国内総生産に占める割合が高く、経済全体に及ぼす影響も大きいことから、経済分析上重要な指標となっている。

また、GDPなどと比べて速報性があることから景況感をはかる指標としても重視されている。

生産指数とあわせて、「出荷」、「在庫」などの指数も発表される。

※前月比の単位は%

		平成25年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	生産指数	73.1	62.6	65.2	68.7	65.2	61.2
	前月比	2.8	▲14.4	4.2	5.4	▲5.1	▲6.1
	出荷指数	65.4	59.7	66.1	66.3	69.8	61.6
	前月比	12.4	▲8.7	10.7	0.3	5.3	▲11.7
	在庫指数	98.0	91.5	95.6	92.1	93.7	81.8
	前月比	7.3	▲6.6	4.5	▲3.7	1.7	▲12.7
食料品・たばこ	生産指数	111.2	96.8	97.0	98.7	96.8	95.2
	前月比	11.5	▲12.9	0.2	1.8	▲1.9	▲1.7
電子部品・デバイス	生産指数	63.1	57.9	70.0	62.8	65.0	63.2
	前月比	4.5	▲8.2	20.9	▲10.3	3.5	▲2.8
電気機械	生産指数	55.9	57.9	56.0	59.2	50.4	42.0
	前月比	1.1	3.6	▲3.3	5.7	▲14.9	▲16.7
一般機械	生産指数	59.0	60.0	72.2	65.2	75.4	59.5
	前月比	▲15.2	1.7	20.3	▲9.7	15.6	▲21.1



# 雇用

Employment



## 引き続き改善している

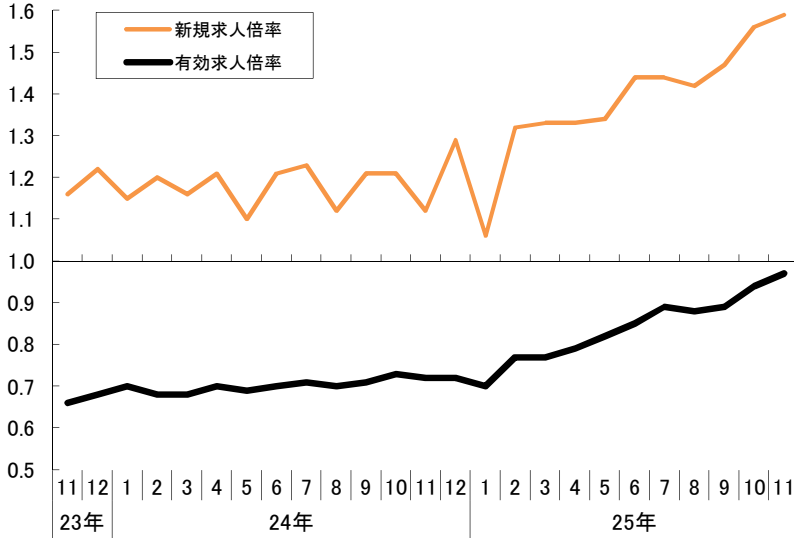
足元では、新規・有効求人倍率がともに前月比大幅プラスとなり、とくに有効求人倍率は高い水準。製造業における所定外労働時間も11か月連続で前年比プラスとなるなど、引き続き改善している

### 1 求人

新規・有効求人倍率ともに前月比プラスとなり、高い水準を維持

統計表p.17

#### ■新規求人倍率・有効求人倍率(季節調整済)



#### 結果概要

- 新規求人倍率
  - ・11月は1.59倍、前月比0.03ポイントの上昇
- 有効求人倍率
  - ・11月は0.97倍、前月比0.03ポイントの上昇

#### 要因・先行き

- 11月の要因
  - ・前月同様、公務・その他を除く全ての主要産業で新規求人数が前年比増となり、かつ新規求職者も減少
- 基調・先行き
  - ・2月以降、新規・有効求人倍率とも改善の動きを続けているが、今月は前月の高い水準を維持
  - ・ただし、正社員の有効求人倍率は0.52倍と、改善の動きが続いているものなお厳しい

#### 指標解説

##### 新規求人倍率・有効求人倍率

新規求人倍率は、求職者1人に対しどれだけの求人数があるかを示す指標。有効求人倍率は、新規求人数に前月からの繰越求人数を加えた有効求人数と、新規求職者数に前月からの繰越求職者数を加えた有効求職者数から算出される。

	平成25年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新規求人倍率	1.44	1.44	1.42	1.47	1.56	<b>1.59</b>
同前月比	0.10	0.00	▲ 0.02	0.05	0.09	<b>0.03</b>
有効求人倍率	0.85	0.89	0.88	0.89	0.94	<b>0.97</b>
同前月比	0.03	0.04	▲ 0.01	0.01	0.05	<b>0.03</b>

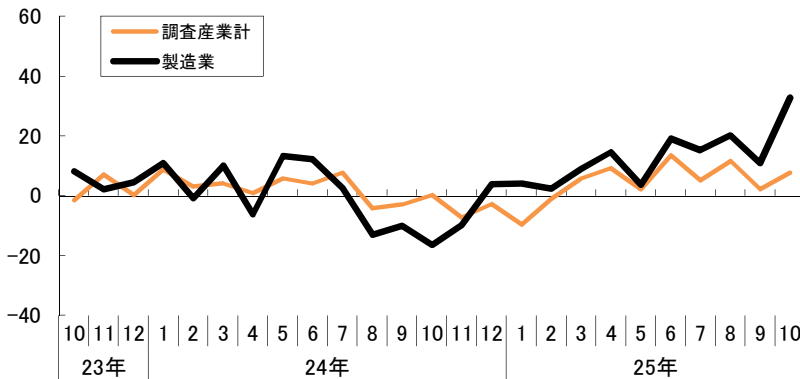
### 2 所定外労働

製造業は11か月連続、全産業では8か月連続の前年比プラス

統計表p.17

#### ■所定外労働時間

(事業所規模30人以上、平成22年=100とした労働時間指数の前年同月比、%)



#### 結果概要

- 全産業
  - ・10月は9.9時間
  - ・労働時間指数は前年同月比7.7%増(8か月連続)
- 製造業 同32.8%増(11か月連続)

#### 要因・先行き

- 10月の要因(製造業)
  - ・金属製品、電気機械器具、輸送用機械器具など、多くの業種でプラス
  - ・今月は前年の反動も加わり大幅増
- 基調・先行き(製造業)
  - ・昨年末から前年比プラス基調が続く
  - ・先行きは、水準自体は高くないものの、前年比プラス基調が続く見通し

#### 指標解説

##### 所定外労働時間

労働協約や就業規則で定められた所定内労働時間(正規の始業時刻から終業時刻までの実労働時間)を超えた労働時間。早出や残業、臨時の呼び出し、休日出勤などが含まれる。製造業では景気動向の影響を受けやすい。

	平成25年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
調査産業計(時間)	9.0	10.0	9.9	9.6	9.5	<b>9.9</b>
労働時間指数の同前年同月比(%)	2.3	13.6	5.3	11.7	2.2	<b>7.7</b>
うち製造業(%)	3.7	19.1	15.3	20.3	11.0	<b>32.8</b>

景気動向指数

鳥取県

CI指数(当月値)

先行指数	前月差に対する寄与度								一致指数	前月差に対する寄与度								遅行指数	前月差に対する寄与度									
	1 所定外労働時間数 製造業	2 新規求人 一般	3 生産財生産指数	4 日経商品指数	5 新設住宅着工戸数	6 民間金融貸出残高	7 信用保証申込額	8 不渡手形発生率		1 有効求人倍率 一般	2 就職率 一般	3 製造工業生産指数	4 大口電力需要量	5 実質百貨店販売額	6 建築着工床面積 鉱工業用	7 人件費率 逆	8 輸入通関実績 製造業		1 常用雇用指数 逆	2 雇用保険受給者実人員	3 消費者物価指数	4 営業倉庫保管残高	5 民間金融預貸率	6 実質法人事業税調定額				
																									前月差	前月差	前月差	前月差
23年 10月	67.2	▲3.8	▲0.2	▲1.3	▲0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.5	▲0.5	57.0	▲5.0	▲0.6	▲0.4	▲2.4	▲0.5	▲0.1	▲2.4	0.8	0.7	69.4	▲0.9	▲1.5	▲0.2	0.2	0.0	0.4	0.8
11月	70.8	3.6	▲0.1	1.4	1.6	▲0.7	1.7	▲0.1	0.1	0.3	59.5	2.5	▲0.2	▲0.1	2.3	0.4	0.4	▲1.3	1.8	▲0.7	70.1	0.7	1.9	▲0.1	▲0.4	0.6	▲0.3	▲0.3
12月	71.6	0.8	0.1	1.6	▲1.0	▲1.0	1.2	0.3	0.6	1.8	66.9	7.4	1.1	0.2	▲0.4	0.9	0.0	2.4	2.1	1.1	69.4	▲0.7	▲1.4	▲0.1	0.2	0.2	0.3	0.4
24年 1月	69.0	▲2.6	1.1	▲1.5	0.1	0.1	▲0.5	▲0.3	0.6	▲1.8	67.3	0.4	0.8	▲1.9	2.5	▲0.7	1.9	▲3.5	2.3	▲1.1	66.0	▲3.4	▲1.7	▲1.7	0.6	0.2	0.0	▲0.4
2月	69.3	0.3	▲0.2	0.5	0.7	▲0.3	0.8	▲0.2	▲1.0	0.0	66.5	▲0.8	▲0.7	1.7	▲2.3	0.6	▲2.4	3.0	▲1.2	0.5	63.8	▲2.2	▲1.5	0.6	0.1	▲1.2	▲0.1	0.0
3月	69.7	0.4	0.6	▲0.3	▲0.8	▲0.1	▲1.0	0.8	0.3	1.3	57.6	▲8.9	0.1	▲1.7	▲1.6	▲1.6	1.6	▲3.1	▲1.9	▲0.7	67.5	3.7	1.2	0.8	0.1	1.4	0.3	0.2
4月	67.1	▲2.6	▲0.9	0.9	▲1.3	▲0.4	0.6	▲0.3	▲0.2	▲0.7	54.3	▲3.3	1.0	1.0	▲2.1	▲0.1	▲1.8	1.5	▲2.3	▲0.4	71.7	4.2	2.5	0.7	▲0.1	0.6	0.4	0.3
5月	66.5	▲0.6	0.6	▲0.1	0.3	▲0.7	0.4	▲0.8	▲1.2	1.2	58.9	4.6	0.1	2.1	0.4	▲0.1	0.2	1.0	▲0.1	1.0	69.8	▲1.9	0.3	▲1.7	▲0.4	0.1	0.2	▲0.2
6月	65.7	▲0.8	0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.1	0.2	0.3	▲0.6	0.0	51.3	▲7.6	0.1	▲2.8	▲1.2	▲1.2	0.9	▲0.8	▲1.6	▲1.1	69.0	▲0.8	▲1.0	1.0	▲0.4	0.2	0.0	▲0.4
7月	66.5	0.8	▲0.5	1.0	▲0.4	0.1	0.1	▲0.2	1.2	▲0.5	52.7	1.4	0.6	1.6	▲1.1	1.1	▲1.0	0.8	▲1.2	0.6	69.0	0.0	0.9	0.0	▲0.7	▲0.1	0.6	▲0.7
8月	65.7	▲0.8	▲1.1	▲0.7	▲0.2	0.8	▲0.1	0.8	▲1.4	0.7	50.0	▲2.7	▲0.5	0.0	0.2	▲0.3	0.4	0.4	▲1.9	▲0.8	74.8	5.8	2.8	0.6	0.5	0.6	0.3	0.8
9月	68.6	2.9	0.7	0.4	0.1	1.5	0.1	0.4	0.6	▲0.9	52.3	2.3	0.3	▲0.5	0.7	0.2	▲0.1	▲1.1	2.0	0.6	76.4	1.6	▲1.4	0.5	0.2	0.1	0.3	1.9
10月	66.9	▲1.7	▲0.7	▲0.1	0.3	▲0.4	0.1	▲0.4	▲0.3	▲0.2	54.4	2.1	0.3	1.1	▲0.1	▲1.1	▲0.5	0.9	0.4	1.3	75.4	▲1.0	1.7	▲1.2	▲0.3	0.8	▲0.2	▲1.8
11月	69.1	2.2	0.8	▲0.6	▲0.5	1.1	0.8	0.4	0.4	▲0.4	54.0	▲0.4	▲0.3	0.1	▲1.0	0.8	1.4	1.3	▲0.9	▲1.8	75.9	0.5	▲1.4	0.6	0.6	0.1	0.0	0.3
12月	68.8	▲2.3	1.0	1.0	▲0.3	1.1	▲0.9	▲0.7	▲1.5	0.1	51.4	▲2.6	▲0.3	0.5	▲0.3	0.2	▲1.9	▲0.5	▲2.1	0.6	77.0	1.1	2.2	0.5	▲0.2	▲0.7	▲0.9	0.1
25年 1月	73.9	5.1	▲0.4	0.2	1.6	0.0	1.1	0.3	1.8	0.3	58.1	6.7	▲0.6	▲0.1	1.5	0.5	0.3	2.3	2.3	0.5	73.3	▲3.7	▲1.1	▲1.5	▲0.4	▲0.8	0.5	▲0.7
2月	72.0	▲1.9	▲0.4	▲0.4	▲0.9	▲0.1	▲0.7	0.8	0.0	0.0	51.9	▲6.2	0.9	0.8	▲1.4	0.3	▲0.4	▲2.2	▲2.8	▲1.5	76.3	3.0	1.5	1.2	▲0.2	▲0.4	0.1	0.8
3月	74.7	2.7	1.4	▲0.6	0.7	▲0.1	▲0.5	0.8	0.5	0.5	57.0	5.1	0.6	▲1.5	0.6	0.1	0.9	1.4	0.5	2.4	78.8	2.5	2.4	0.2	▲0.4	0.0	0.5	▲0.3
4月	76.2	1.5	▲0.5	0.5	0.4	0.2	1.1	0.4	0.3	▲0.8	65.1	8.1	1.0	1.1	2.9	0.4	▲0.7	1.8	3.1	▲1.4	82.4	3.6	0.7	▲0.3	0.5	0.8	0.9	0.6
5月	80.4	4.2	▲0.6	1.4	1.0	1.8	▲0.1	1.2	▲0.6	0.0	64.0	▲1.1	1.4	▲1.3	0.0	0.7	▲0.3	▲2.0	0.8	▲0.5	82.2	▲0.2	▲1.5	▲0.5	0.4	0.3	0.7	0.3
6月	79.4	▲1.0	1.1	▲1.4	▲1.3	0.2	▲0.7	▲0.5	1.3	0.1	64.6	0.6	0.3	0.8	▲1.9	0.1	1.3	0.1	▲2.1	1.9	79.7	▲2.5	▲1.7	0.3	0.5	▲0.6	▲0.8	▲0.4
7月	78.7	▲0.7	▲0.9	1.4	1.5	0.6	▲0.5	0.2	▲1.8	▲1.1	71.9	7.3	1.4	2.4	3.3	1.0	▲1.9	▲1.7	3.5	▲0.7	79.3	▲0.4	▲2.0	▲1.4	1.0	未	0.0	2.1
8月	79.6	0.9	▲0.9	▲0.7	▲1.1	0.6	1.2	▲0.5	1.4	0.9	74.3	2.4	▲0.9	▲1.5	0.3	0.6	1.5	0.3	1.0	1.1	73.6	▲5.7	▲2.8	0.6	0.3	未	▲0.9	▲2.9
9月	77.1	▲2.5	▲0.2	▲0.6	0.2	▲0.3	0.4	▲0.1	0.2	▲2.1	70.1	▲4.2	▲0.1	▲1.0	▲1.2	▲1.8	▲0.4	0.9	▲1.0	0.4	77.2	3.6	2.0	▲0.3	0.3	未	0.0	1.6
10月	83.6	6.5	1.5	1.3	▲0.5	0.9	1.1	0.1	▲0.7	2.6	66.7	▲3.4	1.4	1.7	▲2.0	▲1.0	▲1.0	1.1	▲1.7	▲1.8	78.1	0.9	0.2	1.7	0.0	未	▲0.7	▲0.6

調査機関

県統計課

【注】逆=逆サイクル、前=前年同月比、未=未公表、r=訂正值(以下同じ) / 各系列の「前月差に対する寄与度」は四捨五入しているため合計値は前月差に一致しない場合がある

景気動向指数

先行指数	鳥取県						全国								
	CI指数(3か月平均値、平成17年=100)			DI指数			CI指数(平成22年=100)			DI指数					
	前月差	一致指数	遅行指数	前月差	一致指数	遅行指数	前月差	一致指数	遅行指数	前月差	一致指数	遅行指数			
													%	%	%
23年 10月	70.1	▲1.9	60.2	▲2.3	70.0	▲1.4	37.5	31.3	50.0	102.1	104.9	103.3	36.4	72.7	58.3
11月	69.7	▲0.4	59.5	▲0.7	69.9	▲0.1	62.5	50.0	50.0	101.7	104.0	104.9	54.5	45.5	75.0
12月	69.9	0.2	61.1	1.6	69.6	▲0.3	68.8	81.3	66.7	101.9	106.0	106.3	36.4	81.8	33.3
24年 1月	70.5	0.6	64.6	3.5	68.5	▲1.1	75.0	62.5	58.3	102.8	106.0	105.4	63.6	81.8	33.3
2月	70.0	▲0.5	66.9	2.3	66.4	▲2.1	50.0	62.5	50.0	104.4	106.7	107.0	81.8	72.7	50.0
3月	69.3	▲0.7	63.8	▲3.1	65.8	▲0.6	25.0	31.3	66.7	104.5	108.0	107.3	90.9	86.4	83.3
4月	68.7	▲0.6	59.5	▲4.3	67.7	1.9	50.0	37.5	66.7	104.3	107.4	107.3	72.7	63.6	75.0
5月	67.8	▲0.9	56.9	▲2.6	69.7	2.0	37.5	37.5	83.3	103.6	106.5	107.8	36.4	45.5	58.3
6月	66.4	▲1.4	54.8	▲2.1	70.2	0.5	37.5	37.5	50.0	102.4	104.7	107.9	36.4	9.1	33.3
7月	66.2	▲0.2	54.3	▲0.5	69.3	▲0.9	62.5	62.5	33.3	101.4	103.7	107.3	36.4	9.1	33.3
8月	66.0	▲0.2	51.3	▲3.0	70.9	1.6	62.5	31.3	50.0	101.1	103.2	107.6	36.4	9.1	33.3
9月	66.9	0.9	51.7	0.4	73.4	2.5	50.0	50.0	100.2	101.5	106.9	107.8	36.4	13.6	33.3
10月	67.1	0.2	52.2	0.5	75.5	2.1	37.5	56.3	66.7	100.3	101.4	108.1	31.8	31.8	66.7
11月	68.2	1.1	53.6	1.4	75.9	0.4	62.5	75.0	66.7	99.9	101.0	107.8	40.9	27.3	33.3
12月	68.3	0.1	53.3	▲0.3	76.1	0.2	37.5	37.5	50.0	100.9	102.7	108.6	81.8	81.8	66.7
25年 1月	70.6	2.3	54.5	1.2	75.4	▲0.7	100.0	62.5	0.0	103.4	103.0	108.1	68.2	72.7	50.0
2月	71.6	1.0	53.8	▲0.7	75.5	0.1	87.5	31.3	33.3	105.6	104.0	108.1	90.9	81.8	50.0
3月	73.5	1.9	55.7	1.9	76.1	0.6	62.5	87.5	33.3	106.6	105.0	109.8	90.9	81.8	66.7
4月	74.3	0.8	58.0	2.3	79.2	3.1	50.0	62.5	66.7	107.9	105.9	110.0	81.8	81.8	66.7
5月	77.1	2.8	62.0	4.0	81.1	1.9	87.5	87.5	83.3	110.4	106.9	111.2	90.9	90.9	66.7
6月	78.7	1.6	64.6	2.6	81.4	0.3	75.0	50.0	66.7	107.3	106.6	112.0	54.5	54.5	66.7
7月	79.5	0.8	66.8	2.2	80.4	▲1.0	62.5	50.0	70.0	107.9	107.8	112.8	63.6	81.8	50.0
8月	79.2	▲0.3	70.3	3.5	77.5	▲2.9	50.0	62.5	20.0	107.0	107.8</				

消費 (大型小売店、ホームセンター・家電量販店)

Personal Consumption

大型小売店販売額															
	鳥 取 県									全 国					
	合 計			百 貨 店			ス ー パ ー			合 計		百 貨 店		ス ー パ ー	
	前年比			前年比			前年比			前年比		前年比		前年比	
	全店舗		既存店	全店舗		既存店	全店舗		既存店	全店舗		既存店	全店舗		既存店
	百万円	%		百万円	%		百万円	%		億円	%	億円	%	億円	%
23年 10月	4,881	▲ 3.8	▲ 3.8	1,551	▲ 4.7	▲ 4.7	3,330	▲ 3.4	▲ 3.4	16,057	▲ 1.4	5,512	▲ 0.8	10,545	▲ 1.7
11月	5,224	▲ 2.6	▲ 2.6	1,786	▲ 3.3	▲ 3.3	3,438	▲ 2.3	▲ 2.3	16,370	▲ 2.5	5,891	▲ 2.2	10,479	▲ 2.7
12月	6,240	▲ 3.2	▲ 3.2	2,130	▲ 3.3	▲ 3.3	4,110	▲ 3.1	▲ 3.1	20,910	▲ 0.3	7,884	0.7	13,026	▲ 0.9
24年 1月	5,712	2.0	2.0	1,652	4.6	4.6	4,060	0.9	0.9	17,383	▲ 1.2	5,974	▲ 1.2	11,408	▲ 1.2
2月	4,569	▲ 5.4	▲ 5.4	1,394	▲ 4.5	▲ 4.5	3,175	▲ 5.7	▲ 5.7	14,659	0.2	4,691	▲ 0.5	9,969	0.6
3月	4,901	0.9	0.9	1,631	5.4	5.4	3,270	▲ 1.2	▲ 1.2	16,032	5.1	5,696	14.2	10,337	0.5
4月	4,865	▲ 5.0	▲ 5.0	1,490	▲ 3.0	▲ 3.0	3,375	▲ 5.8	▲ 5.8	15,664	▲ 0.6	5,184	1.5	10,480	▲ 1.6
5月	4,977	0.5	0.5	1,465	▲ 2.4	▲ 2.4	3,512	1.8	1.8	15,755	▲ 0.8	5,127	▲ 0.9	10,628	▲ 0.7
6月	4,833	▲ 2.6	▲ 2.6	1,496	1.5	1.5	3,337	▲ 4.3	▲ 4.3	15,682	▲ 2.6	5,218	▲ 1.2	10,464	▲ 3.3
7月	5,149	▲ 4.8	▲ 4.8	1,655	▲ 4.0	▲ 4.0	3,494	▲ 5.2	▲ 5.2	17,123	▲ 4.4	6,209	▲ 3.3	10,914	▲ 5.0
8月	5,455	0.6	0.6	1,466	▲ 1.8	▲ 1.8	3,989	1.5	1.5	15,568	▲ 0.9	4,545	▲ 0.8	11,023	▲ 0.9
9月	4,575	▲ 2.4	▲ 2.4	1,317	▲ 2.0	▲ 2.0	3,258	▲ 2.5	▲ 2.5	14,700	▲ 1.1	4,693	▲ 0.0	10,007	▲ 1.6
10月	4,660	▲ 4.5	▲ 4.5	1,475	▲ 4.9	▲ 4.9	3,185	▲ 4.4	▲ 4.4	15,672	▲ 3.2	5,349	▲ 2.2	10,323	▲ 3.7
11月	5,167	▲ 1.1	▲ 1.1	1,829	2.4	2.4	3,338	▲ 2.9	▲ 2.9	16,630	0.8	5,985	2.5	10,645	▲ 0.1
12月	6,517	4.4	4.4	2,086	▲ 2.1	▲ 2.1	4,431	7.8	7.8	21,048	0.1	7,719	▲ 1.0	13,329	0.7
25年 1月	5,124	▲ 10.3	▲ 10.3	1,636	▲ 0.9	▲ 0.9	3,488	▲ 14.1	▲ 14.1	16,872	▲ 3.5	5,907	0.3	10,965	▲ 5.5
2月	4,285	▲ 6.2	▲ 6.2	1,351	▲ 3.1	▲ 3.1	2,934	▲ 7.6	▲ 7.6	14,239	▲ 3.7	4,669	0.7	9,570	▲ 5.7
3月	5,006	2.1	2.1	1,641	0.7	0.7	3,365	2.9	2.9	16,598	2.5	5,888	4.0	10,710	1.6
4月	4,752	▲ 2.3	▲ 2.3	1,462	▲ 1.8	▲ 1.8	3,290	▲ 2.5	▲ 2.5	15,508	▲ 2.3	5,154	▲ 0.4	10,354	▲ 3.3
5月	4,806	▲ 3.4	▲ 3.4	1,427	▲ 2.6	▲ 2.6	3,379	▲ 3.8	▲ 3.8	15,889	▲ 0.4	5,252	2.8	10,637	▲ 2.0
6月	4,981	3.1	3.1	1,539	2.8	2.8	3,443	3.2	3.2	16,385	3.5	5,586	7.5	10,799	1.4
7月	5,159	0.2	0.2	1,598	▲ 3.5	▲ 3.5	3,562	1.9	1.9	17,127	▲ 1.6	6,041	▲ 2.2	11,086	▲ 1.2
8月	5,333	▲ 2.2	▲ 2.2	1,495	2.0	2.0	3,838	▲ 3.8	▲ 3.8	15,823	▲ 0.1	4,653	3.0	11,170	▲ 1.3
9月	4,560	▲ 0.3	▲ 0.3	1,330	0.9	0.9	3,231	▲ 0.8	▲ 0.8	15,059	0.7	4,811	3.0	10,248	▲ 0.4
10月	4,699	0.8	0.8	1,436	▲ 2.6	▲ 2.6	3,263	2.5	2.5	15,911	▲ 0.1	5,303	▲ 0.4	10,608	0.0
調査機関	県統計課									経済産業省					

ホームセンター・家電量販店販売額									
	鳥 取 県								
	合 計			ホ ー ム セ ン タ ー			家 電 量 販 店		
	前年比			前年比			前年比		
	(全店舗)		店舗数	(全店舗)		店舗数	(全店舗)		店舗数
	百万円	%	店	百万円	%	店	百万円	%	店
23年 10月	2,628	▲ 24.9	56	1,592	▲ 15.1	43	1,036	▲ 36.2	13
11月	2,668	▲ 36.1	56	1,571	0.2	43	1,097	▲ 57.9	13
12月	3,927	5.1	57	2,225	8.7	44	1,702	0.8	13
24年 1月	2,505	▲ 6.2	56	1,268	▲ 8.3	44	1,237	▲ 4.0	12
2月	2,131	▲ 18.1	56	1,145	▲ 8.4	44	986	▲ 27.1	12
3月	2,943	▲ 19.6	57	1,460	▲ 9.4	44	1,482	▲ 27.7	13
4月	2,762	▲ 5.0	57	1,738	1.2	44	1,024	▲ 13.9	13
5月	2,659	▲ 13.9	57	1,701	▲ 1.0	44	958	▲ 30.0	13
6月	2,681	▲ 19.5	58	1,607	▲ 2.2	45	1,074	▲ 36.4	13
7月	3,373	▲ 12.9	58	1,721	▲ 0.1	45	1,651	▲ 23.1	13
8月	2,905	2.2	58	1,620	1.5	45	1,286	3.0	13
9月	2,530	1.8	58	1,393	1.0	45	1,137	2.7	13
10月	2,466	▲ 6.2	58	1,540	▲ 3.3	45	927	▲ 10.6	13
11月	2,705	1.4	58	1,625	3.4	45	1,081	▲ 1.5	13
12月	3,788	▲ 3.5	58	2,105	▲ 5.4	45	1,683	▲ 1.1	13
25年 1月	2,400	▲ 4.2	58	1,234	▲ 2.7	45	1,166	▲ 5.7	13
2月	2,155	1.1	58	1,127	▲ 1.5	45	1,028	4.2	13
3月	2,914	▲ 1.0	58	1,523	4.3	45	1,391	▲ 6.2	13
4月	2,481	▲ 10.2	58	1,566	▲ 9.9	45	914	▲ 10.7	13
5月	2,573	▲ 3.2	58	1,647	▲ 3.2	45	926	▲ 3.3	13
6月	2,771	3.4	57	1,572	▲ 2.2	45	1,199	11.6	12
7月	3,037	▲ 10.0	57	1,581	▲ 8.1	45	1,456	▲ 11.8	12
8月	2,897	▲ 0.3	56	1,578	▲ 2.6	45	1,319	2.6	11
9月	2,473	▲ 2.3	56	1,389	▲ 0.3	45	1,084	▲ 4.7	11
10月	2,414	▲ 2.1	56	1,490	▲ 3.2	45	924	▲ 0.3	11
調査機関	中国経済産業局								

## 消費 (乗用車)

Personal Consumption

## 乗用車新車新規登録台数

## 鳥 取 県

	乗用車新車新規登録台数											
	合 計				登 録 車						軽自動車	
	月別台数		年累計		合計		普通車		小型車		月別台数	
	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比
23年 11月	1,700	26.6	17,496	▲ 16.0	947	25.8	441	34.0	506	19.3	753	27.6
12月	1,569	29.3	19,065	▲ 13.5	831	30.7	386	45.7	445	19.9	738	27.9
24年 1月	1,595	34.8	1,595	34.8	824	41.8	350	69.1	474	26.7	771	28.1
2月	2,113	24.0	3,708	28.4	1,121	24.4	492	27.5	629	22.1	992	23.5
3月	4,109	67.8	7,817	46.5	2,422	60.2	1,012	74.5	1,410	51.3	1,687	80.0
4月	1,838	115.2	9,655	56.0	891	133.2	372	153.1	519	120.9	947	100.6
5月	1,815	62.9	11,470	57.0	875	53.5	370	63.7	505	46.8	940	72.8
6月	2,376	34.3	13,846	52.6	1,288	40.8	506	36.0	782	44.0	1,088	27.4
7月	2,544	44.1	16,390	51.2	1,382	26.6	515	19.5	867	31.2	1,162	72.7
8月	1,659	25.1	18,049	48.4	881	15.2	354	2.3	527	25.8	778	38.7
9月	1,917	0.6	19,966	41.9	1,067	▲ 7.4	450	▲ 9.3	617	▲ 5.9	850	12.9
10月	1,678	▲ 2.8	21,644	37.0	898	▲ 8.1	324	▲ 17.1	574	▲ 2.0	780	4.0
11月	1,677	▲ 1.4	23,321	33.3	868	▲ 8.3	356	▲ 19.3	512	1.2	809	7.4
12月	1,405	▲ 10.5	24,726	29.7	703	▲ 15.4	280	▲ 27.5	423	▲ 4.9	702	▲ 4.9
25年 1月	1,435	▲ 10.0	1,435	▲ 10.0	679	▲ 17.6	297	▲ 15.1	382	▲ 19.4	756	▲ 1.9
2月	1,993	▲ 5.7	3,428	▲ 7.6	959	▲ 14.5	409	▲ 16.9	550	▲ 12.6	1,034	4.2
3月	3,714	▲ 9.6	7,142	▲ 8.6	2,092	▲ 13.6	833	▲ 17.7	1,259	▲ 10.7	1,622	▲ 3.9
4月	1,693	▲ 7.9	8,835	▲ 8.5	816	▲ 8.4	380	2.2	436	▲ 16.0	877	▲ 7.4
5月	1,775	▲ 2.2	10,610	▲ 7.5	848	▲ 3.1	364	▲ 1.6	484	▲ 4.2	927	▲ 1.4
6月	1,970	▲ 17.1	12,580	▲ 9.1	900	▲ 30.1	420	▲ 17.0	480	▲ 38.6	1,070	▲ 1.7
7月	2,163	▲ 15.0	14,743	▲ 10.0	1,030	▲ 25.5	451	▲ 12.4	579	▲ 33.2	1,133	▲ 2.5
8月	1,608	▲ 3.1	16,351	▲ 9.4	698	▲ 20.8	319	▲ 9.9	379	▲ 28.1	910	17.0
9月	2,316	20.8	18,667	▲ 6.5	1,154	8.2	461	2.4	693	12.3	1,162	36.7
10月	2,024	20.6	20,691	▲ 4.4	1,050	16.9	426	31.5	624	8.7	974	24.9
11月	2,197	31.0	22,888	▲ 1.9	1,111	28.0	479	34.6	632	23.4	1,086	34.2
調査機関	中国運輸局鳥取運輸支局											

## 乗用車新車新規登録台数

## 全 国

	月別台数		年累計	
	前年比	前年比	前年比	前年比
	千台	%	千台	%
23年 11月	324	25.1	3,235	▲ 18.6
12月	290	20.9	3,525	▲ 16.3
24年 1月	359	38.4	359	38.4
2月	449	31.7	808	34.6
3月	641	76.3	1,449	50.3
4月	306	99.5	1,755	57.1
5月	338	68.6	2,093	58.8
6月	433	46.8	2,526	56.6
7月	445	42.3	2,971	54.3
8月	316	15.6	3,287	49.5
9月	378	▲ 3.7	3,665	41.5
10月	299	▲ 6.7	3,964	36.2
11月	324	0.2	4,288	32.6
12月	284	▲ 2.0	4,572	29.7
25年 1月	332	▲ 7.4	332	▲ 7.4
2月	413	▲ 8.1	745	▲ 7.8
3月	571	▲ 11.0	1,316	▲ 9.2
4月	309	0.7	1,624	▲ 7.5
5月	308	▲ 8.7	1,933	▲ 7.7
6月	379	▲ 12.5	2,311	▲ 8.5
7月	402	▲ 9.7	2,713	▲ 8.7
8月	311	▲ 1.6	3,024	▲ 8.0
9月	446	18.1	3,470	▲ 5.3
10月	354	18.4	3,824	▲ 3.5
11月	379	16.7	4,203	▲ 2.0
調査機関	日本自販協会連合会、全国軽自動車協会連合会			

## 投資 (住宅)

Investment

		新設住宅着工戸数											
		鳥 取 県											
		合 計				持家系				貸家系			
		戸数		床面積		戸数		床面積		戸数		床面積	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
戸	%	m <sup>2</sup>	%	戸	%	m <sup>2</sup>	%	戸	%	m <sup>2</sup>	%		
23年	11月	278	▲ 34.3	21,668	▲ 21.3	87	▲ 7.4	11,122	▲ 8.3	191	▲ 69.0	10,546	▲ 84.0
	12月	192	▲ 11.5	18,462	▲ 8.2	118	▲ 2.6	14,782	▲ 0.6	74	▲ 27.5	3,680	▲ 29.8
24年	1月	100	▲ 44.4	11,076	▲ 36.7	81	▲ 26.4	9,808	▲ 27.6	19	▲ 72.9	1,268	▲ 67.8
	2月	156	▲ 28.9	15,721	▲ 18.1	97	▲ 18.3	12,389	▲ 9.8	59	▲ 51.3	3,332	▲ 64.4
	3月	104	▲ 46.9	11,806	▲ 35.9	78	▲ 19.6	10,367	▲ 16.9	26	▲ 73.7	1,439	▲ 75.8
	4月	164	▲ 30.2	16,753	▲ 24.6	99	▲ 37.3	13,128	▲ 26.7	65	▲ 15.6	3,625	▲ 15.7
	5月	156	▲ 0.6	16,929	▲ 1.4	113	▲ 14.1	13,295	▲ 0.6	43	▲ 25.9	3,634	▲ 9.5
	6月	228	▲ 15.6	19,815	▲ 26.4	94	▲ 37.3	12,363	▲ 39.2	134	▲ 11.7	7,452	▲ 12.6
	7月	252	▲ 11.0	24,668	▲ 7.6	149	▲ 0.7	19,305	▲ 3.8	103	▲ 23.7	5,363	▲ 33.8
	8月	169	▲ 7.7	16,521	▲ 21.6	102	▲ 28.7	12,907	▲ 31.1	67	▲ 67.5	3,614	▲ 54.3
	9月	162	▲ 17.4	16,791	▲ 12.0	104	▲ 3.7	13,356	▲ 2.5	58	▲ 93.3	3,435	▲ 166.1
	10月	163	▲ 21.6	17,493	▲ 22.4	107	▲ 15.1	14,091	▲ 15.8	56	▲ 36.6	3,402	▲ 60.2
	11月	273	▲ 1.8	26,248	▲ 21.1	186	▲ 113.8	21,222	▲ 90.8	87	▲ 54.5	5,026	▲ 52.3
	12月	174	▲ 9.4	18,133	▲ 1.8	120	▲ 1.7	15,347	▲ 3.8	54	▲ 27.0	2,786	▲ 24.3
25年	1月	169	▲ 69.0	15,284	▲ 38.0	82	▲ 1.2	10,349	▲ 5.5	87	▲ 357.9	4,935	▲ 289.2
	2月	152	▲ 2.6	14,039	▲ 10.7	97	▲ 0.0	12,003	▲ 3.1	55	▲ 6.8	2,036	▲ 38.9
	3月	122	▲ 17.3	14,085	▲ 19.3	103	▲ 32.1	13,042	▲ 25.8	19	▲ 26.9	1,043	▲ 27.5
	4月	233	▲ 42.1	27,161	▲ 62.1	206	▲ 108.1	25,601	▲ 95.0	27	▲ 58.5	1,560	▲ 57.0
	5月	188	▲ 20.5	21,780	▲ 28.7	141	▲ 24.8	18,655	▲ 40.3	47	▲ 9.3	3,125	▲ 14.0
	6月	208	▲ 8.8	22,981	▲ 16.0	138	▲ 46.8	19,104	▲ 54.5	70	▲ 47.8	3,877	▲ 48.0
	7月	187	▲ 25.8	20,965	▲ 15.0	132	▲ 11.4	17,443	▲ 9.6	55	▲ 46.6	3,522	▲ 34.3
	8月	192	▲ 13.6	21,163	▲ 28.1	138	▲ 35.3	18,350	▲ 42.2	54	▲ 19.4	2,813	▲ 22.2
	9月	204	▲ 25.9	21,376	▲ 27.3	148	▲ 42.3	18,497	▲ 38.5	56	▲ 3.4	2,879	▲ 16.2
	10月	281	▲ 72.4	29,313	▲ 67.6	184	▲ 72.0	24,368	▲ 72.9	97	▲ 73.2	4,945	▲ 45.4
	11月	263	▲ 3.7	29,499	▲ 12.4	195	▲ 4.8	26,061	▲ 22.8	68	▲ 21.8	3,438	▲ 31.6
調査機関		国土交通省											

		新設住宅着工戸数					
		全 国					
		合 計		持家系		貸家系	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
		戸	%	戸	%	戸	%
23年	11月	72,635	▲ 0.3	46,834	▲ 2.3	25,801	▲ 4.6
	12月	69,069	▲ 7.3	44,019	▲ 6.0	25,050	▲ 9.5
24年	1月	65,984	▲ 1.1	41,500	▲ 1.7	24,484	▲ 0.1
	2月	66,928	▲ 7.5	43,770	▲ 6.8	23,158	▲ 8.8
	3月	66,597	▲ 5.0	42,580	▲ 3.9	24,017	▲ 7.0
	4月	73,647	▲ 10.3	47,106	▲ 7.4	26,541	▲ 16.0
	5月	69,638	▲ 9.3	45,112	▲ 6.5	24,526	▲ 14.7
	6月	72,566	▲ 0.2	44,695	▲ 2.9	27,871	▲ 4.5
	7月	75,421	▲ 9.6	48,820	▲ 7.2	26,601	▲ 13.6
	8月	77,500	▲ 5.5	49,436	▲ 6.4	28,064	▲ 3.8
	9月	74,176	▲ 15.5	47,535	▲ 9.3	26,641	▲ 28.7
	10月	84,251	▲ 25.2	49,958	▲ 13.5	34,293	▲ 47.5
	11月	80,145	▲ 10.3	49,695	▲ 6.1	30,450	▲ 18.0
	12月	75,944	▲ 10.0	48,192	▲ 9.5	27,752	▲ 10.8
25年	1月	69,289	▲ 5.0	44,355	▲ 6.9	24,934	▲ 1.8
	2月	68,969	▲ 3.0	46,225	▲ 5.6	22,744	▲ 1.8
	3月	71,456	▲ 7.3	45,063	▲ 5.8	26,393	▲ 9.9
	4月	77,894	▲ 5.8	49,745	▲ 5.6	28,149	▲ 6.1
	5月	79,751	▲ 14.5	52,813	▲ 17.1	26,938	▲ 9.8
	6月	83,704	▲ 15.3	52,728	▲ 18.0	30,976	▲ 11.1
	7月	84,459	▲ 12.0	52,836	▲ 8.2	31,623	▲ 18.9
	8月	84,343	▲ 8.8	54,421	▲ 10.1	29,922	▲ 6.6
	9月	88,539	▲ 19.4	56,096	▲ 18.0	32,443	▲ 21.8
	10月	90,226	▲ 7.1	54,469	▲ 9.0	35,757	▲ 4.3
調査機関		国土交通省					



## 投資 (設備投資)

Investment

## 用途別着工建築物工事金額

## 鳥 取 県

	合 計		着工戸数		業種別工事金額(9業種)									
	工事金額				鉱業、採石業、砂利採取業、建設業	製造業	情報通信業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業	宿泊業、飲食サービス業	医療、福祉	その他のサービス業	
	前年比		前年比											
	百万円	%	棟	%	百万円									
23年 11月	1,074	48.8	31	55.0	6	42	15	94	0	0	70	814	33	
12月	2,154	115.5	45	66.7	2	613	0	33	35	50	60	508	853	
24年 1月	671	▲ 47.2	16	▲ 42.9	0	0	0	307	86	0	16	201	61	
2月	1,175	▲ 44.4	25	4.2	186	258	0	273	0	0	0	54	405	
3月	1,146	▲ 0.8	23	9.5	5	0	0	197	0	31	24	884	5	
4月	1,521	14.5	24	4.3	11	11	0	523	750	0	10	138	78	
5月	970	▲ 69.8	22	▲ 31.3	34	25	16	324	0	8	230	302	31	
6月	836	▲ 63.0	22	▲ 4.3	16	106	16	157	0	0	10	531	1	
7月	1,653	3.4	28	16.7	12	266	0	221	0	0	19	1,115	20	
8月	6,350	487.9	34	30.8	17	173	8	182	0	0	230	5,434	308	
9月	3,020	15.1	38	26.7	0	55	56	236	0	0	13	1,212	1,447	
10月	287	▲ 81.1	17	▲ 19.0	25	40	0	81	0	0	0	77	65	
11月	1,234	14.9	35	12.9	3	260	35	81	0	7	57	720	71	
12月	1,111	▲ 48.4	21	▲ 53.3	2	195	0	113	0	0	44	753	5	
25年 1月	1,667	148.5	21	31.3	0	612	10	243	0	0	60	706	35	
2月	889	▲ 24.3	23	▲ 8.0	0	135	0	132	0	3	18	384	218	
3月	1,109	▲ 3.3	25	8.7	61	164	0	30	0	12	0	797	46	
4月	4,328	184.7	33	37.5	34	2,267	0	510	0	0	20	984	514	
5月	1,734	78.8	32	45.5	31	203	0	230	0	631	155	177	307	
6月	2,118	153.5	33	50.0	42	1,015	0	537	0	0	46	410	69	
7月	1,226	▲ 25.8	39	39.3	30	221	20	209	0	10	4	565	167	
8月	1,113	▲ 82.5	20	▲ 41.2	0	77	0	566	0	28	25	395	22	
9月	3,636	20.4	29	▲ 23.7	41	85	250	471	0	88	6	1,373	1,322	
10月	5,879	1,951.6	29	70.6	97	68	14	297	0	7	0	5,359	38	
11月	643	▲ 47.9	17	▲ 51.4	0	260	0	280	0	0	9	70	23	
調査機関	国土交通省													

## 用途別着工建築物工事金額

## 全 国

	工事金額		着工戸数	
	前年比		前年比	
	億円	%	棟	%
23年 11月	4,386	13.3	4,713	15.2
12月	4,081	29.3	4,321	7.8
24年 1月	4,911	26.9	4,219	9.2
2月	4,119	12.0	4,043	12.6
3月	4,511	▲ 21.3	4,112	7.4
4月	4,377	▲ 11.9	4,271	12.5
5月	3,754	▲ 14.9	4,317	14.0
6月	4,530	▲ 2.4	4,883	10.1
7月	4,187	▲ 10.8	4,865	9.8
8月	4,604	▲ 7.2	4,794	9.7
9月	5,084	31.9	4,734	7.8
10月	4,822	7.6	4,983	8.8
11月	4,935	12.5	4,740	0.6
12月	4,353	6.7	4,777	10.6
25年 1月	4,239	▲ 13.7	4,185	▲ 0.8
2月	5,954	44.5	4,143	2.5
3月	5,477	21.4	4,222	2.7
4月	6,219	42.1	4,459	4.4
5月	5,592	49.0	4,597	6.5
6月	5,190	14.6	5,119	4.8
7月	5,259	25.6	5,080	4.4
8月	5,288	14.9	4,810	0.3
9月	6,321	24.3	5,084	7.4
10月	5,483	13.7	5,083	2.0
11月				
調査機関	国土交通省			

	公共工事請負金額													
	鳥 取 県													
	合 計				発注者別保証実績									
	件数	月別請負金額		累計 請負金額	国		独立行政法人		県		市町村		その他	
		前年比	請負金額		月別請負金額	前年比	月別請負金額	前年比	月別請負金額	前年比	月別請負金額	前年比	月別請負金額	前年比
件	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
22年 11月	190	3,717	▲ 28.8	71,737	471	▲ 58.1	41	▲ 76.9	1,625	▲ 3.2	1,509	▲ 25.7	69	▲ 66.1
12月	193	3,267	▲ 26.0	75,004	398	▲ 31.7	21	▲ 89.0	1,683	8.5	833	▲ 58.1	329	239.7
23年 1月	129	3,460	▲ 17.6	78,464	1,030	▲ 27.4	4	▲ 83.0	1,299	▲ 25.9	1,089	10.4	36	143.5
2月	133	4,446	▲ 31.2	82,910	1,128	▲ 51.7	—	—	1,811	▲ 6.4	1,499	32.4	12	▲ 98.8
3月	215	10,082	▲ 23.2	92,992	3,257	23.1	35	▲ 90.8	4,811	▲ 30.0	1,778	▲ 20.7	198	▲ 79.6
4月	141	7,877	▲ 17.6	7,877	1,336	▲ 7.1	—	—	3,202	▲ 36.0	2,770	▲ 3.9	567	136.5
5月	73	4,488	▲ 76.2	12,365	1,470	▲ 89.3	—	—	2,236	▲ 11.7	773	▲ 68.8	8	▲ 54.6
6月	144	6,372	▲ 34.6	18,737	1,238	▲ 12.2	456	<	2,404	▲ 24.3	1,635	▲ 64.9	638	25.8
7月	210	6,360	▲ 8.0	25,097	1,520	55.0	▲ 299	—	2,910	▲ 12.4	2,226	▲ 5.3	3	▲ 98.2
8月	215	6,743	▲ 21.5	31,840	1,120	▲ 55.1	91	▲ 40.4	2,996	▲ 25.9	2,131	29.7	403	58.2
9月	273	7,092	6.2	38,932	1,096	▲ 6.8	116	86.6	3,945	37.0	1,711	▲ 12.4	222	▲ 63.2
10月	248	6,986	▲ 9.3	45,918	1,190	▲ 30.6	21	▲ 76.1	3,292	▲ 17.7	2,172	24.8	310	102.9
11月	175	3,358	▲ 9.7	49,276	774	64.3	152	263.9	1,138	▲ 30.0	1,148	▲ 23.9	145	110.3
12月	173	4,472	36.9	53,748	577	44.8	397	<	1,351	▲ 19.7	1,863	123.5	282	▲ 14.2
24年 1月	177	5,823	68.3	59,571	1,414	37.3	572	<	1,410	8.5	1,982	82.0	444	1,117.1
2月	200	6,709	50.9	66,280	1,845	63.6	—	—	3,030	67.2	1,089	▲ 27.4	744	<
3月	260	14,798	46.8	81,078	4,339	33.2	—	—	7,113	47.8	2,582	45.2	763	283.8
4月	212	9,172	16.4	9,172	2,356	76.3	—	—	3,727	16.4	2,345	▲ 15.0	734	29.5
5月	141	4,938	10.0	14,111	477	▲ 67.5	—	—	1,836	▲ 17.9	1,594	106.0	1,030	<
6月	160	7,523	18.1	21,635	2,562	106.9	—	—	1,652	▲ 31.2	2,793	70.8	514	▲ 19.4
7月	209	8,396	32.0	30,031	1,093	▲ 28.1	107	—	3,089	6.2	3,436	54.3	669	<
8月	220	6,576	▲ 2.5	36,607	1,342	19.9	35	▲ 61.7	2,819	▲ 5.9	2,258	6.0	120	▲ 70.1
9月	223	8,347	17.7	44,954	1,384	26.2	194	67.1	3,867	▲ 2.0	2,820	64.8	79	▲ 64.1
10月	271	9,854	41.0	54,809	3,632	205.1	305	1,357.0	3,687	12.0	2,148	▲ 1.1	79	▲ 74.4
11月	162	5,710	70.0	60,520	879	13.6	151	▲ 0.4	2,799	146.0	1,023	▲ 10.8	855	489.0
12月	134	3,185	▲ 28.8	63,705	728	26.1	12	▲ 96.7	1,043	▲ 22.8	1,198	▲ 35.7	202	▲ 28.5
25年 1月	135	3,900	▲ 33.0	67,605	1,349	▲ 4.6	11	▲ 97.9	1,329	▲ 5.8	805	▲ 59.4	404	▲ 9.1
2月	105	3,937	▲ 41.3	71,543	1,354	▲ 26.6	23	<	1,810	▲ 40.2	607	▲ 44.3	141	▲ 81.0
3月	227	12,038	▲ 18.7	83,581	4,100	▲ 5.5	151	<	5,071	▲ 28.7	2,318	▲ 10.2	396	▲ 48.0
4月	250	11,703	27.6	11,703	1,592	▲ 32.4	11	<	6,587	76.7	2,505	6.4	1,006	37.0
5月	159	9,121	84.7	20,824	2,434	410.1	—	—	2,848	55.1	2,826	77.3	1,011	▲ 1.9
6月	178	9,778	30.0	30,603	2,768	8.0	—	—	1,761	6.6	5,063	81.2	185	▲ 63.9
7月	292	10,712	27.6	41,315	4,794	338.4	—	—	2,590	▲ 16.2	2,637	▲ 23.3	690	3.0
8月	229	7,951	20.9	49,266	1,003	▲ 25.3	946	2,589.3	3,639	29.1	1,895	▲ 16.1	466	286.6
9月	251	11,486	37.6	60,753	3,721	168.8	836	329.6	3,727	▲ 3.6	3,045	7.9	156	96.1
10月	337	10,624	7.8	71,377	1,951	▲ 46.3	888	190.5	3,484	▲ 5.5	3,283	52.8	1,015	1,175.7
11月	191	6,478	13.4	77,855	1,009	14.8	11	▲ 92.1	4,011	43.3	1,168	14.2	275	▲ 67.7

生産 (鉱工業生産動向)

Production

鉱工業生産動向 (平成17年=100、全国は平成22年=100)														
	生産指数					出荷指数					在庫指数			
	鳥取県		全国			鳥取県		全国			鳥取県		全国	
	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数
		%		%		%		%		%		%		
23年	10月	74.4 ▲ 10.7	84.5 ▲ 20.1	101.3	101.8	83.1 ▲ 7.3	89.5 ▲ 11.5	100.7	99.5	72.5 ▲ 1.6	77.5 ▲ 14.9	107.1	108.4	
	11月	87.1 17.1	97.3 ▲ 6.4	99.1	100.7	89.5 7.7	95.4 ▲ 9.1	98.2	99.8	72.0 ▲ 0.7	73.8 ▲ 15.6	106.7	109.6	
	12月	85.9 ▲ 1.4	91.6 ▲ 8.7	101.1	101.0	92.1 2.9	97.0 ▲ 3.0	101.8	102.7	73.2 1.7	73.7 ▲ 13.6	104.9	105.3	
24年	1月	96.2 12.0	81.2 1.1	101.5	92.8	98.6 7.1	83.4 ▲ 0.8	101.8	91.4	76.0 3.8	76.5 ▲ 11.5	105.8	111.1	
	2月	89.4 ▲ 7.1	81.4 ▲ 3.7	101.3	101.5	98.4 ▲ 0.2	89.1 3.5	101.9	101.0	77.3 1.7	77.1 ▲ 14.0	107.3	110.9	
	3月	84.9 ▲ 5.0	84.0 ▲ 9.0	101.1	110.1	83.7 ▲ 14.9	85.6 ▲ 16.1	102.0	113.4	85.2 10.2	82.7 ▲ 1.3	110.0	103.6	
	4月	74.9 ▲ 11.8	69.8 ▲ 13.9	100.6	95.9	67.2 ▲ 19.7	68.0 ▲ 16.5	100.1	94.0	84.6 ▲ 0.7	79.4 5.3	112.4	107.4	
	5月	78.0 4.1	70.8 ▲ 8.6	98.8	94.0	73.7 9.7	67.7 ▲ 18.6	98.9	93.7	88.6 4.7	84.8 9.1	110.6	109.8	
	6月	73.2 ▲ 6.2	76.4 ▲ 18.6	98.0	101.8	69.7 ▲ 5.4	71.6 ▲ 24.9	97.4	101.7	89.5 1.0	89.8 10.6	110.6	109.3	
	7月	64.7 ▲ 11.6	70.2 ▲ 28.9	97.5	102.2	62.6 ▲ 10.2	67.4 ▲ 32.9	95.5	100.3	93.6 4.6	94.4 18.1	112.4	113.1	
	8月	68.0 5.1	63.8 ▲ 26.7	96.1	92.7	65.7 5.0	63.5 ▲ 32.2	95.4	92.5	85.9 ▲ 8.2	87.3 19.8	112.7	113.9	
	9月	68.3 0.4	70.5 ▲ 17.9	94.0	97.1	66.0 0.5	67.8 ▲ 26.3	93.0	98.5	90.1 4.9	90.4 22.3	112.7	110.4	
	10月	67.4 ▲ 1.3	76.6 ▲ 9.3	94.3	97.0	68.4 3.6	73.7 ▲ 17.7	93.3	94.4	84.1 ▲ 6.7	89.9 16.0	112.7	114.2	
	11月	65.2 ▲ 3.3	72.8 ▲ 25.2	93.4	95.2	63.4 ▲ 7.3	67.6 ▲ 29.1	91.8	93.8	85.2 1.3	87.3 18.3	112.3	115.2	
	12月	64.9 ▲ 0.5	69.2 ▲ 24.5	94.7	93.3	61.1 ▲ 3.6	64.4 ▲ 33.6	95.2	94.7	85.5 0.4	86.1 16.8	110.8	110.9	
25年	1月	70.3 8.3	59.3 ▲ 27.0	94.1	87.2	71.7 17.3	60.7 ▲ 27.2	96.3	87.6	88.2 3.2	88.8 16.1	109.1	114.6	
	2月	66.5 ▲ 5.4	60.6 ▲ 25.6	94.9	91.2	63.5 ▲ 11.4	57.5 ▲ 35.5	98.0	92.3	91.9 4.2	91.6 18.8	107.8	111.4	
	3月	67.7 1.8	67.0 ▲ 20.2	95.0	102.2	63.5 0.0	64.9 ▲ 24.2	97.2	106.7	97.4 6.0	94.6 14.4	107.0	100.8	
	4月	71.1 5.0	66.2 ▲ 5.2	95.9	92.6	58.2 ▲ 8.3	58.9 ▲ 13.4	95.8	91.2	91.3 ▲ 6.3	85.7 7.9	107.9	103.1	
	5月	73.1 2.8	66.3 ▲ 6.4	97.7	93.0	65.4 12.4	60.1 ▲ 11.2	96.8	91.7	98.0 7.3	93.8 10.6	107.0	106.3	
	6月	62.6 ▲ 14.4	65.3 ▲ 14.5	94.7	97.1	59.7 ▲ 8.7	61.3 ▲ 14.4	93.7	96.5	91.5 ▲ 6.6	91.8 2.2	107.0	105.7	
	7月	65.2 4.2	70.7 0.7	97.9	104.0	66.1 10.7	71.2 5.6	95.6	101.7	95.6 4.5	96.4 2.1	108.7	109.4	
	8月	68.7 5.4	64.4 0.9	97.0	92.3	66.3 0.3	64.1 0.9	95.5	91.3	92.1 ▲ 3.7	93.6 7.2	108.5	109.7	
	9月	65.2 ▲ 5.1	67.3 ▲ 4.5	98.3	102.1	69.8 5.3	71.7 5.8	96.9	103.0	93.7 1.7	94.0 4.0	108.3	106.1	
	10月	61.2 ▲ 6.1	69.5 ▲ 9.3	99.3	102.2	61.6 ▲ 11.7	66.4 ▲ 9.9	99.1	100.3	81.8 ▲ 12.7	87.4 ▲ 2.8	108.0	109.4	
調査機関	県統計課、経済産業省													

鉱工業生産動向(業種別生産指数) (平成17年=100)													
鳥取県													
	食料品・たばこ				電子部品・デバイス				電気機械				一般機械
	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	季節調整指数	原指数	
													前月比
			%		%		%		%		%		
		%		%		%		%		%			
23年	10月	92.9 ▲ 2.2	95.8 22.2	65.8 ▲ 1.5	71.2 ▲ 32.8	45.6 ▲ 12.3	59.7 ▲ 54.6	59.0 ▲ 20.1	69.0 ▲ 37.7				
	11月	91.1 ▲ 1.9	95.3 5.2	65.9 0.2	68.5 ▲ 31.9	49.3 8.1	63.0 ▲ 50.7	139.5 136.4	145.7 36.6				
	12月	92.2 1.2	104.8 8.0	71.1 7.9	72.3 ▲ 23.7	56.2 14.0	60.9 ▲ 45.1	98.0 ▲ 29.7	98.7 ▲ 1.4				
24年	1月	96.9 5.1	82.5 12.6	75.3 5.9	66.2 ▲ 20.3	63.0 12.1	56.1 ▲ 37.9	86.6 ▲ 11.6	72.5 6.1				
	2月	89.3 ▲ 7.8	82.6 ▲ 0.1	83.8 11.3	73.9 ▲ 7.5	69.3 10.0	55.9 ▲ 36.1	83.4 ▲ 3.7	76.4 ▲ 21.2				
	3月	93.3 4.5	96.2 ▲ 7.2	73.4 ▲ 12.4	68.7 ▲ 16.2	70.4 1.6	64.5 ▲ 39.5	87.3 4.7	84.2 10.1				
	4月	88.5 ▲ 5.1	94.1 ▲ 1.2	65.2 ▲ 11.2	62.6 ▲ 10.2	52.2 ▲ 25.9	47.8 ▲ 49.1	70.9 ▲ 18.8	68.5 ▲ 7.4				
	5月	103.0 16.4	97.9 8.9	62.1 ▲ 4.8	59.7 ▲ 23.4	59.1 13.2	51.1 ▲ 40.5	76.8 8.3	76.1 7.3				
	6月	100.6 ▲ 2.3	100.7 ▲ 10.2	62.4 0.5	66.7 ▲ 14.6	61.7 4.4	54.1 ▲ 41.7	66.5 ▲ 13.4	70.1 ▲ 7.8				
	7月	89.8 ▲ 10.7	94.9 ▲ 8.0	56.4 ▲ 9.6	59.4 ▲ 19.1	60.5 ▲ 1.9	57.1 ▲ 37.0	60.0 ▲ 9.8	65.0 ▲ 20.2				
	8月	91.3 1.7	87.3 ▲ 3.0	52.6 ▲ 6.7	54.4 ▲ 25.6	54.2 ▲ 10.4	51.6 ▲ 20.5	66.9 11.5	67.7 ▲ 10.3				
	9月	101.5 11.2	96.2 6.8	55.7 5.9	60.8 ▲ 16.6	56.2 3.7	65.0 8.0	71.5 6.9	68.6 ▲ 3.1				
	10月	103.2 1.7	106.4 11.1	59.4 6.6	64.3 ▲ 9.7	42.0 ▲ 25.3	54.9 ▲ 8.0	56.7 ▲ 20.7	66.3 ▲ 3.9				
	11月	96.7 ▲ 6.3	101.2 6.2	61.5 3.5	63.9 ▲ 6.7	41.2 ▲ 1.9	52.7 ▲ 16.3	67.6 19.2	70.6 ▲ 51.5				
	12月	92.5 ▲ 4.3	105.1 0.3	53.0 ▲ 13.8	53.9 ▲ 25.4	53.8 30.6	58.3 ▲ 4.3	67.5 ▲ 0.1	68.0 ▲ 31.1				
25年	1月	100.8 9.0	85.8 4.0	65.0 22.6	57.1 ▲ 13.7	51.5 ▲ 4.3	45.9 ▲ 18.2	79.8 18.2	66.8 ▲ 7.9				
	2月	100.6 ▲ 0.2	93.1 12.7	59.0 ▲ 9.2	52.0 ▲ 29.6	65.7 27.6	53.0 ▲ 5.2	67.6 ▲ 15.3	62.0 ▲ 18.8				
	3月	98.6 ▲ 2.0	101.6 5.6	65.6 11.2	61.4 ▲ 10.6	57.8 ▲ 12.0	53.0 ▲ 17.8	70.4 4.1	67.9 ▲ 19.4				
	4月	99.7 1.1	106.0 12.6	60.4 ▲ 7.9	57.9 ▲ 7.5	55.3 ▲ 4.3	50.6 5.9	69.6 ▲ 1.1	67.3 ▲ 1.8				
	5月	111.2 11.5	105.7 8.0	63.1 4.5	60.6 1.5	55.9 1.1	48.3 ▲ 5.5	59.0 ▲ 15.2	58.5 ▲ 23.1				
	6月	96.8 ▲ 12.9	96.9 ▲ 3.8	57.9 ▲ 8.2	61.9 ▲ 7.2	57.9 3.6	50.7 ▲ 6.3	60.0 1.7	63.3 ▲ 9.7				
	7月	97.0 0.2	102.6 8.1	70.0 20.9	73.7 24.1	56.0 ▲ 3.3	52.9 ▲ 7.4	72.2 20.3	78.2 20.3				
	8月	98.7 1.8	94.4 8.1	62.8 ▲ 10.3	64.9 19.3	59.2 5.7	56.3 9.1	65.2 ▲ 9.7	66.0 ▲ 2.5				
	9月	96.8 ▲ 1.9	91.8 ▲ 4.6	65.0 3.5	70.9 16.6	50.4 ▲ 14.9	58.4 ▲ 10.2	75.4 15.6	72.3 5.4				
	10月	95.2 ▲ 1.7	98.2 ▲ 7.7	63.2 ▲ 2.8	68.4 6.4	42.0 ▲ 16.7	54.9 0.0	59.5 ▲ 21.1	69.6 5.0				
調査機関	県統計課												

雇用 (求人、所定外労働)

Employment

	求人倍率 (季節調整値)				パート求人倍率 (原数値)				雇用保険受給状況		常用雇用指数 (平成22年=100)	
	新規		有効		新規		有効		鳥取県		産業計	
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	受給者実人員		鳥取県	全国
	倍		倍		倍		倍		人	前年比 %		
23年 11月	1.16	1.17	0.66	0.71	2.17	1.83	1.21	1.01	3,171	▲ 0.3	98.0	100.1
12月	1.22	1.20	0.68	0.72	2.27	2.11	1.20	1.06	3,040	0.9	95.0	99.8
24年 1月	1.15	1.21	0.70	0.74	1.96	1.69	1.30	1.10	3,426	17.0	96.8	99.6
2月	1.20	1.23	0.68	0.75	1.74	1.81	1.22	1.14	3,327	18.1	102.4	99.5
3月	1.16	1.23	0.68	0.76	1.71	1.71	1.17	1.13	3,230	11.9	102.3	98.8
4月	1.21	1.26	0.70	0.79	1.09	1.14	0.94	0.99	3,328	9.7	104.5	100.1
5月	1.10	1.28	0.69	0.80	1.29	1.44	0.87	0.94	3,943	16.9	104.0	100.3
6月	1.21	1.29	0.70	0.81	1.61	1.75	0.88	0.95	3,731	8.9	104.5	100.2
7月	1.23	1.29	0.71	0.81	1.87	1.92	0.92	1.01	3,868	7.2	105.1	100.1
8月	1.12	1.31	0.70	0.81	1.79	1.96	1.01	1.08	3,661	1.3	104.5	99.8
9月	1.21	1.28	0.71	0.81	1.63	1.77	1.03	1.11	3,301	▲ 0.9	104.4	99.7
10月	1.21	1.31	0.73	0.81	2.00	1.88	1.13	1.15	3,397	4.5	104.2	99.6
11月	1.12	1.33	0.72	0.82	2.01	2.20	1.21	1.19	3,179	0.3	104.1	99.5
12月	1.29	1.35	0.72	0.83	2.55	2.45	1.23	1.24	2,929	▲ 3.7	103.6	99.6
25年 1月	1.06	1.33	0.70	0.85	1.76	1.89	1.26	1.26	3,139	▲ 8.4	102.1	99.0
2月	1.32	1.35	0.77	0.85	2.27	2.06	1.40	1.29	3,001	▲ 9.8	101.5	98.7
3月	1.33	1.39	0.77	0.86	1.98	1.93	1.27	1.29	2,978	▲ 7.8	101.6	98.1
4月	1.33	1.40	0.79	0.89	1.28	1.27	1.10	1.12	3,167	▲ 4.8	104.1	99.7
5月	1.34	1.42	0.82	0.90	1.70	1.63	1.04	1.07	3,544	▲ 10.1	103.8	100.0
6月	1.44	1.49	0.85	0.92	2.26	2.03	1.08	1.08	3,434	▲ 8.0	103.2	100.1
7月	1.44	1.46	0.89	0.94	2.32	2.15	1.21	1.17	3,686	▲ 4.7	103.7	100.0
8月	1.42	1.47	0.88	0.95	2.15	2.18	1.26	1.29	3,503	▲ 4.3	103.8	99.8
9月	1.47	1.50	0.89	0.95	2.19	1.95	1.33	1.26	3,225	▲ 2.3	103.5	99.7
10月	1.56	1.59	0.94	0.98	2.41	2.24	1.43	1.32	3,045	▲ 10.4	103.5	99.7
11月	1.59	1.56	0.97	1.00	2.60	2.51	1.51	1.39	2,827	▲ 11.1		
調査機関	鳥取労働局、県統計課、厚生労働省											

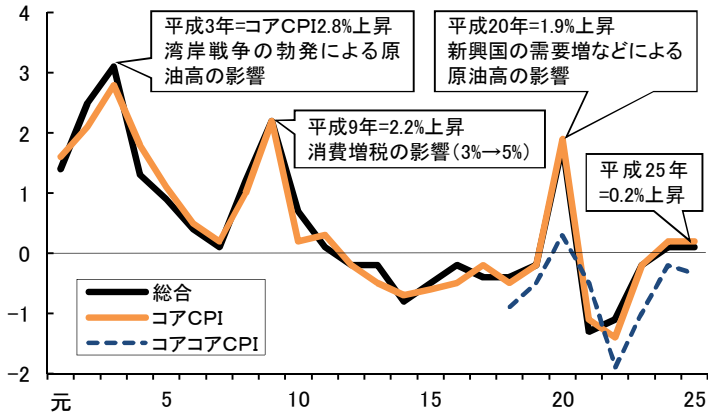
	所定外労働時間 (事業所規模30人以上)						
	鳥取県				全国		
	調査産業計			製造業	調査産業計		製造業
	実時間	労働時間 指数	前年比	前年比	実時間	前年比	前年比
時間		%	%	時間	%	%	
23年 10月	8.0	104.1	▲ 1.4	8.3	12.3	1.3	4.3
11月	8.8	115.0	7.2	2.3	12.3	▲ 0.9	1.2
12月	8.9	116.8	0.4	4.5	12.7	2.1	3.0
24年 1月	9.5	108.0	8.9	11.1	12.0	1.7	1.2
2月	9.6	109.1	3.0	▲ 0.7	12.3	1.6	2.0
3月	10.1	114.8	4.3	10.2	12.8	4.6	7.9
4月	9.6	109.1	0.9	▲ 6.1	12.7	6.5	16.6
5月	8.8	100.0	5.8	13.4	12.1	6.8	11.3
6月	8.8	100.0	4.2	12.4	12.0	3.1	3.8
7月	9.4	106.8	7.9	2.7	12.0	▲ 0.3	▲ 1.5
8月	8.6	97.7	▲ 4.2	▲ 13.0	11.6	0.5	▲ 2.8
9月	9.3	105.7	▲ 2.8	▲ 10.0	11.8	▲ 2.1	▲ 6.6
10月	9.2	104.5	0.4	▲ 16.3	12.1	▲ 3.0	▲ 8.9
11月	9.4	106.8	▲ 7.1	▲ 9.8	12.2	▲ 2.3	▲ 7.9
12月	10.0	113.6	▲ 2.7	3.9	12.2	▲ 2.2	▲ 8.0
25年 1月	8.6	97.7	▲ 9.5	4.2	11.7	▲ 2.5	▲ 6.7
2月	9.5	108.0	▲ 1.0	2.4	11.9	▲ 3.3	▲ 6.0
3月	10.7	121.6	5.9	9.1	12.5	▲ 2.4	▲ 3.6
4月	10.5	119.3	9.3	14.7	12.7	0.0	▲ 1.2
5月	9.0	102.3	2.3	3.7	12.1	0.0	▲ 0.7
6月	10.0	113.6	13.6	19.1	12.1	0.8	1.3
7月	9.9	112.5	5.3	15.3	12.4	3.3	4.4
8月	9.6	109.1	11.7	20.3	12.0	3.4	7.2
9月	9.5	108.0	2.2	11.0	12.3	4.3	10.3
10月	9.9	112.5	7.7	32.8	12.8	5.8	13.0
調査機関	県統計課				厚生労働省		

## 今月の指標

## 消費者物価指数

消費者物価指数の動向に見る「良い物価上昇」へのシナリオ

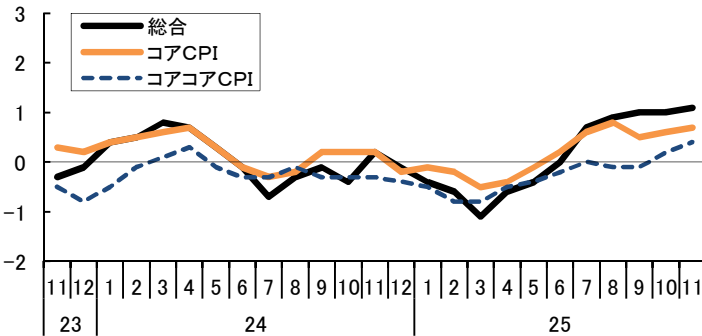
【図1】消費者物価指数の前年比の推移(鳥取市、%)



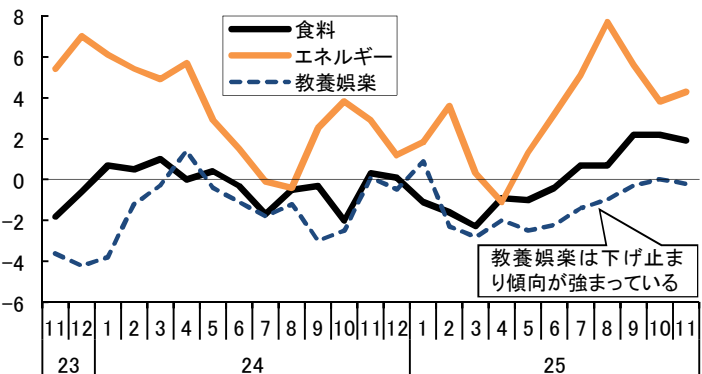
【出所】総務省「消費者物価指数」(以下、同様)。

【注】指数は平成22年=100(以下、同様)。平成25年は1~11月の前年同期比。コアコアCPIの前年比データは平成18年から公表開始。

【図2】消費者物価指数の前年同月比の推移(鳥取市、%)



【図3】主要品目の消費者物価指数の前年同月比の推移(鳥取市、中分類品目ベース、%)



この欄は、本誌で紹介している指標を中心に、さまざまな角度から統計データに光を当て、県経済動向の背景や深層を読み解いていくことをねらいとしています。

消費者物価の上昇基調が定着しつつある。鳥取市の11月の消費者物価指数(CPI、平成22年=100)は、総合指数で前年同月比1.1%上昇し、価格変動の大きい「生鮮食品を除く総合指数(コアCPI)」で同0.7%上昇した。指数の前年比プラスは総合が5か月連続、コアCPIが6か月連続のことだ。

インフレやデフレの基調的な度合いを示すとされるコアCPIの年平均値の長期的な動向を見ると、鳥取市ではこの十数年間マイナス傾向が続いてきたが、平成24年は前年比0.2%上昇、25年も1~11月の平均で前年同期比0.2%上昇とプラス圏内入り、デフレから脱する出口に近づいたように見える(図1参照)。

ただ、これらの物価上昇は市況高や円安を背景としたエネルギー価格の高騰が主因で、モノやサービスへの需要が高まることによる押し上げ効果はまだ大きくない。実際、「食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数(コアコアCPI)」の年平均値は、下げ幅が縮小してきたとはいえ、平成24年、25年ともにまだ水面下だ。

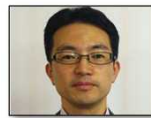
### 好循環を伴う物価上昇のカギは 転嫁をめぐる事業環境と所得環境

だが、直近では11月のコアコアCPIは前年同月比0.4%上昇と、2か月連続のプラス(図2参照)。電気やガソリン以外の品目にも物価上昇や下落幅縮小の動きが広がってきた。とりわけ従来、物価の押し下げ要因になってきたパソコンやテレビなどを含む「教養娯楽」の分野でこのところ下げ止まり傾向が強まり、11月に前年同月比0.2%低下とほぼ横ばいとなったことは注目に値する(図3参照)。

先行きは消費税率の5%から8%への引き上げに伴い、今年4月以降は指数の前年比プラスが続く公算が大きい。事業者が増税分をどの程度価格転嫁できるかが上げ幅を左右するが、日本経済新聞社が11月に実施した調査では、全額転嫁できると考えている食品・日用品メーカーは全体の39%にとどまる。

さらに企業が賃金の増額に慎重になり、増税による消費の反動減が拡大する事態となれば下押し圧力が高まる。企業収益や個人消費の拡大を伴う物価上昇の実現には、価格転嫁をめぐる事業環境と家計の所得環境がともに改善することが重要なポイントになりそうだ。

### 私はこう見る



鳥取銀行くらしと経営相談所  
所長  
玉木 真人 氏

今年4月の消費税率の引き上げをめぐっては、県内でもクリーニングやタクシーなど消費・サービス関連の一部事業者の間で価格転嫁に向けた動きが見られるが、円安の進行による原燃料高の中でも価格を据え置いていたため、値上げせざるを得ないのが実情だ。

一方、下請けの製造業では元請けの意向次第ではないだろうか。価格転嫁カルテルの結成容認など政策的な後押しもあるが、取引価格が上昇するかは不透明な様相。政府の2014年度の経済成長率は名目で3.3%程度の見通しも、増税後の反動による需要減の影響を考え合わせると、物価上昇は小幅にとどまる可能性もあり、4月以降の推移は予測が難しい。